Kansai University Alumni Association News

關大

第550号

平成21年(2009年)3月15日発行
奇数月15日発行・昭和30年8月6日第三種郵便物認可

関西大学校友会
〒564-8680　吹田市山手町3-3-35　関西大学会館
電話 06(6368)1121(代)　　FAX 06(6380)8476
URL　http://www.kandai-koyukai.com/
Eメール　koyukai@jm.kansai-u.ac.jp

新校友会長に寺内俊太郎氏

1月24日の臨時代議員会で選出

卒業特集

校友会長・学長・理事長の新卒業生に贈る言葉

新卒業生の「学生生活の思い出」・定年退職教授の「大学を去るにあたって」

校友・父母会館が竣工

大学・校友・父母が相協力の拠点に



校友・父母会館(3月12日竣工)

KANDAI ZOOMING 10





～山岡順太郎先生胸像～

関西大学が大学令によって大学昇格を果たし、千里山に学び舎を建設したことで1926（大正15）年6月5日、本学は、はじめて昼間部をもつ大学になった。これら千里山学舎建設と大学昇格という関西大学史上最も特筆されるべき事業を完成させたのが山岡順太郎総理事兼学長である。

「関大中興の祖」の胸像は1965（昭和40）年11月2日、大学創立80周年記念事業の一環として、第2学舎前に復興された。（新谷英夫氏制作）

関大 第550号

目次

1月24日臨時代議員会開く
新校友会長に寺内俊太郎氏選出 …… 2
代議員会議長に日根直人氏、副議長に山田拓幸氏
3月12日校友・父母会館が竣工 …… 22
大学・校友・父母が相協力の拠点に

卒業特集
寺内会長・河田学長・上原理事長の新卒業生に贈る言葉 …… 6
新卒業生「学生生活4年間の思い出」・定年退職教授の「大学を去るにあたって」 …… 8
校友会から「新卒業生」の皆さんへ …… 15
きらっ人(と)校友録⑰ 税理士・ファイナンシャルプランナー 髙谷美喜子さん …… 16

本部関係
2009年スプリングフェスティバル開催要項・総会等開催団体一覧 …… 18
新年互礼会に250人が参加 …… 20
第25回記念 支部対抗親睦ゴルフ大会 5月19日に開催 …… 21

大学関係
2009年度一般入試終わる。90,066人が各地で受験 …… 22
織田信成選手「世界選手権」出場壮行会開催 etc …… 23

北から南から「各地支部だより」 …… 26
校友短信・新刊紹介・訃報 …… 36

※オースごきげんさん」は紙面の関係上休載します。

葦の雫

春になると桜の便りに合わせて街のあちこちで真新しいスーツを身にまとった瀧刺としたフレシュマンに出会う。百年に一度の大不況と言われ、暗い話題の多いこのご時勢に希望と熱意にあふれた彼らの元気な姿を頼もしく感じ、期待を抱くのは私だけであろうか▼昭和三十年代の春の風物詩は上野駅や大阪駅に続々到着する「集団就職列車」と呼ばれる臨時仕立ての満員列車から下車する「金の卵」と云われた中学新卒者達であった。彼らは郷里での家族と別れの寂しさや見知らぬ都会の生活に対する不安、一方仕事や新生活への夢と希望が入り交じった表情で就職先の関係者に暖かく迎えられ、それぞれの新しい生活の場に引率されて行く、彼らの初任給は想像に難くない▼彼らの多くは給料日にはその給料の中から故郷の親御さんに仕送りを続けていた。親たちは子供に感謝しながら仕送りで生活費の足らずを補い或いは将来のため子供名義で預金をしていた。当時は働き始めると親を扶養するのが当然のこととされていた▼しかし、最近では親の年金を当てにしてパラサイトする若者が増加している。ましてや親の死を隠して年金を騙し取る事件まで発生している。何故こんな社会になったのだろう。▼フレッシュマン諸君、初任給から親御さんに仕送りを始めよう！そして思いやりのある暖かい社会を取り戻そう！大不況克服も大切だが、それ以上に取り戻さなければならないものがあるはずだ！頑張れ新社会人！

KANSAI KUグッズ UNIVERSITY
For Memory&Campus Life
記念品やお土産に是非ご利用下さい

●詳しいお問い合わせは
関西大学生活協同組合 TEL:06-6368-7536 E-mail:ku-shop@kandai.ne.jp
インターネットからお申込みいただけます ⇒ http://www.kandai.ne.jp/

新会長に寺内俊太郎氏を選出

平成21年1月臨時代議員会を開催

今後3年間の校友会運営を担う新代議員による臨時代議員会が、1月24日午後1時半から100周年記念会館・ホールで開催され、昨年12月に新たに委嘱された1500人の代議員のうち850余人が出席した。

「議長・副議長選任の件」「会長選任の件」「常議員・監事選任の件」の3議案が審議され、代議員会議長には日根直人氏（昭28学法政）が、副議長には山田拓幸氏（昭48学商、前組織部長）が選出された。続いて会長の選任では前副会長の寺内俊太郎氏（昭46D工金）が満場一致で選出され、公選第10代会長に就任した。また、常議員・監事の選出は前例に倣い選考委員会を設置して選出することになり、委員の人数と人選は会長に一任された。一任を受けた寺内会長から21人の選考委員が発表された。



代議員会議長に日根直人氏
副議長に山田拓幸氏

司会・進行は、加藤和宏・岩崎圭祐の両総務部副部長がつとめ、中村良介副会長の開会のことばのあと、学歌を斉唱。来賓紹介に続いて、一軸浩幸会長が「本日の代議員会は、これからの校友会の指針というべき極めて重要な案件を審議する会議である。代議員会の議長・副議長、そして会長、常議員、監事の選任がある。短い時間であるが、ぜひとも慎重審議をお願いしたい」と挨拶した。

代議員の選考経過報告では、寺内委員長が、選考の全体委員会を4回、小委員会を6回開き、150３人の新しい代議員を委嘱した。いずれも社会の各界各層で活躍し、母校愛の強い、そして積極的に支部活動等を行っている方がたを選出できた」と述べた。

来賓挨拶で、上原洋允理事長は、「いま国公立を含めた大学間競争が激しさを増すなかで、本学はトップ陣営に残っている。関西では、京都大、大阪大、関西大、立命館大、関西学院大等が一団となっている状況である。今後、教学と法人が一体となって充実した大学づくりを進めていくと、トップ集団の中で頭一つ抜けた関西大学が出てくるのではないかと期待している。

教学は、河田学長を中心に、いろいろ工夫をしていただき、昨年10月1日からは教育、研究、社会連携、国際の4つの部で、先生方が真剣に学生を指導されている。国際化の要請が強まるなか、国際部で真剣に検討し、取り組んでいただいている。いまの危機的状況のもとで、先生方もさらに認識を深めていただいて、積極的に協力してくださり、職員の方も懸命に取り組んでもらっていることを私はうれしく思っている。

来年4月には、高槻市の新キャンパスに小・中・高・大（社会安全学部）、堺市に健康文化学部が開設され、関大北陽中学校もできるが、これらには300億もの巨額の資金が必要である。それに見合った教育内容の充実が求められると思う。

皆様方には、母校の発展のためにご理解とご協力を賜り、これからも物心両面で支えていただきたい」と、校友の協力のもとに母校の躍進があることを強調した。

河田悌一学長は、「宮崎県をはじめ、全国から代議員の方がおみえだが、九州には国公私立の大学が74校あり、その受験者数はおよそ13万人だった。この数は早稲田大学の受験生数に相当する。ということは、それだけ九州の大学は大変な時期に来ていると思われる。四国4県には国公私立あわせて16の大学があって、受験生の数はおよそ2万7000人です。これは、関西大学の文学部と経済学部をあわせた数と同じになる。いま全国に749の大学があるが、私立大学は定員割れの大変な時期に遭遇している。有難いことに関西大学は、昨年は9万7000人、一昨年は10万6000人の受験生があった。ことしは、現時点で7万4451人、おそらく昨年に近い受験生が集まるものと考えている。これも、全国各地でご支援をいただいている35万校友の物心両面にわたるご尽力のお陰と、学長として有難く思っている。

昨年10月1日から、15人であった理事が36人になり、体制が一新された。森本靖一郎前理事長のときに、教学と法人が力をあわせて大学の発展に尽くすという構造ができているので、それを大事にしながら、上原理事長の熱意を受けて、学長としても頑張っていきたいと思っている。

皆さまがご当地に帰られたら、いろいろな所で、『関西大学は良い大学だ。ものすごく発展している。ぜひ、関大を受験してほしい』と言っていただければ幸いです」と、法人と一体となって大学づくりに取り組んでいることを述べた。

議事にうつり、前期の小坂道一、北嶋弘一正副議長が仮議長団をつとめ、第1号議案「議長・副議長選任の件」を審議。「議長指名による11人の選考委員による選考」が拍手で承認され、議長から氏名が発表された。選考委員11人は、別室で選考作業を行い、委員を代表して赤松勝也委員長（総務部長）が「校友会の最高議決機関である代議員会の性格に鑑み、慎重審議の結果、議長に日根直人氏、副議長に山田拓幸氏を推薦する」と、両氏の略歴も併せて報告、拍手で承認した。

退任の挨拶をして仮議長団が降壇。選任された新議長団が就任挨拶のあと、第2号議案「会長

選任の件」の審議に入った。議長指名による15人の選考委員で選考する方法が議長から提案され、拍手で承認。正副議長選考委員に新たに4人が加わり、別室で選考作業を進めた。

再開された代議員会で、赤松委員長から「35万校友の代表者であり、校友会の舵取りとして行動力のある人をと、審議を行い、前副会長の寺内俊太郎氏を満場一致で新会長に推薦する」と報告。略歴が紹介され、盛大な拍手で承認された。

寺内新会長は、歴代の校友会会長の功績にふれたあと、パワーポイントを駆使して、会長としての基本方針と活動方針を述べた。すなわち、母校愛の強い校友を軸として、帰属意識の高揚を図り、総力を結集して母校の支援を行う。そのためには創意工夫が必要であり、具体的には、校友会会則の見直し、年間行事の充実と実行、学生会員に対する校友会活動の啓蒙、支部活動への支援と充実、学術・スポーツへの支援検討などをあげた。さらに、熟慮実行ということばを使って、さまざまな母校への貢献策を熱く語った。

第3号議案「常議員・監事選任の件」は、議長から前例に倣い「選考委員会を設置して選考し、選考委員の数とその人選は会長に一任する」案が提案され、拍手で承認。続いて寺内会長から常議員・監事選考委員21人の氏名が発表された。

最後に、一軸前校友会長が、「この3年間、校友ネットワークの構築、躍進する母校の支援などに取り組んできた。いま私は、校友会は不滅であると感じている。たくさんの校友の皆さまから、私たち執行部に寄せられたご支援、ご協力に厚くお礼申し上げる」と退任の挨拶を述べると、会場を埋めた代議員から大きな拍手が贈られた。

片山久江副会長の閉会のことばで、代議員会は滞りなく終了した。

会議のあとの懇親会では、仁井ひろみ総務部副部長が司会をつとめ、古川好男副会長の開宴のことばがあり、児玉憲夫評議員会議長の乾杯で和やかな懇談となった。

◆◆◆

◇議長・副議長選考委員（11人）

▽地域支部代表（5人）＝愛知支部支部長・森田敏二三、香川支部支部長・川北文雄、京都支部支部長・牧村史朗、西宮支部支部長・海蔵寺浩、堺支部支部長・天井一夫▽職域会代表（1人）＝大阪国税秀麗会会長・中本己知夫▽各種団体代表（2人）＝一高同窓会会長・田中義昭、女子秀麗会会長・仁井ひろみ▽執行部（3人）＝総務部長・赤松勝也、事業部長・大谷啓二、財務部長・石井國男。

◇会長選考委員（15人）

前記の議長・副議長選考委員11人と次の4人。

▽地域支部代表（3人）＝南勢支部支部長・時田耕路、神戸支部支部長・西村太一、福島支部支部長・宮腰健次▽職域会代表（1人）＝司法書士関大会会長・塩田貴美代。

就任のご挨拶

〝WEN HVEN¶S V●@@ryY



寺内　俊太郎氏
（てらうち　しゅんたろう）

昭和41年工学部金属工学科を卒業、大学院に進み、46年工学研究科博士課程・金属工学専攻の単位を取得。昭和43年父の経営する大阪冶金興業（株）に入社。金属熱加工技術を世界に求めて約10年間、欧米の真空熱処理技術と設備の導入を図り、55年常務取締役、63年専務取締役、平成6年代表取締役社長に就任。

近年は、新たな金属材料加工技術である金属粉末射出成形技術に注目し、母校の杉本隆史教授と先端科学技術推進機構の協力を得て、タイ・中国・インド等のアジア地域の工業国と技術の交流および技術移転事業を展開している。日本粉体粉末冶金協会参与、日本熱処理工業会監事等を歴任。

大学関係では、平成4年から学校法人関西大学評議員を3期つとめ、12年から副議長を1期。16年監事に就任し、20年10月から理事。大学とは、昭和45年に異業種交流および産学共同の研究会に参加して以来の関係で、現在、科学技術振興会の会長をつとめている。

校友会関係では、平成6年から常議員を3期つとめ、15年から広報担当副会長、18年から組織担当副会長をつとめている。校友会東淀川支部の再建にも幹事長として尽力され、現在、支部長。

このたび、校友会会長を拝命しました寺内俊太郎です。その役職の重要性を考えますと身の引き締まる思いであります。

私は平成6年、植垣会長時代に代議員に推挙されて以来15年間に亘り、寺西会長、畑下会長、上原会長、そして一軸会長と5代の先輩諸氏のご指導の下で校友会活動に参加して参りました。そして、今回の臨時代議員会において第10代会長に推挙され、歴代の各会長様の諸施策を引き継いだ基本方針のご挨拶をさせていただきました。

これからの3年間の職責を校友各位とともに母校を支える「元気な校友会」として活動することを誓い、全校友各位のご指導とご協力をお願い申し上げます。就任にあたり、私の基本方針であります3点を申し述べたいと思います。

1、総力結集　「母校愛」の深い校友を軸とした全校友のいっそうの「校友」意識の高揚と「母校支援」を図る。

35万人の校友が形成する各支部・組織約250団体と毎年卒業する約6000人の新校友を融合し、校友会の活性化を図り、代議員・常議員・役員の校友意識の向上に努める。

2、創意工夫　「母校愛」を具現化する活動施策の立案

◆校友会会則等の見直し、
◆健全財政の維持、
◆校友会年間活動・行事の策定と実行、
◆学生会員を対象とした校友会啓蒙活動、
◆支部活動支援策の検討、
◆「学術・文化・スポーツ振興部」の検討、
◆母校支援策の検討。

3、熟慮実行　前項「創意工夫」での施策を具体的に実行する。

全校友の皆さまへ、これからの3年間、よろしくお願い申し上げます。

退任のご挨拶



浅学非才の身をかえりみず、3年前に校友会会長職を受諾いたしました。今日までの期間、校友の皆様に多大なご迷惑をおかけしました。

校友ネットワークの構築　校友会と校友、校友相互のネットワーク構築に励んでまいりました。今では、支部はもとより職域会等まで新設、復活があり、組織・団体数は250を超えております。校友会も大きく飛躍しました。

躍進を続ける母校　母校では、今春、臨床心理専門職大学院、外国語学部が新設され、来年4月には、高槻、堺の両市での新キャンパスの立ち上げと、「世紀の大プロジェクト」に取り組んでおります。母校を側面から支える校友会として、これに過ぎる喜びはありません。

北陽OBも校友に　昨年、学校法人福武学園北陽高等学校との合併があり、一挙に3万人の校友が加わりました。校友会としても大きな組織になりました。校友会は不滅であると私は信じております。

「挨拶は短く、友情は長く」。本日、この臨時代議員会にお見えの校友会香川支部長のお言葉です。最後に、たくさんの校友の皆様方から私たち執行部に寄せられましたご支援、ご協力に対し、衷心よりお礼を申し上げ、私の退任の挨拶とさせていただきます。この3年間、本当にありがとうございました。

代議員会正副議長略歴



日根　直人（ひね　なおと）
代議員会議長（新）

昭和28年法学部政治学科卒業。学生時代には学友会執行委員長をつとめている。

これまで、㈱光カントリー倶楽部、㈱ホテルロイヤルグランド、㈱日東総合コンサルタントなど、多くの会社で代表取締役社長・会長を歴任し、大企業の顧問もつとめている。現在は、㈱都エンタープライズ　サンヒル都の総館長。

大学関係では、平成6年から連続4期学校法人関西大学評議員で、その間、学事委員長を2期つとめた。



山田　拓幸（やまだ　ひろゆき）
代議員会副議長（新）

昭和48年商学部卒業。同年、監査法人中央会計事務所（現・みすず清算監査法人）入所。52年公認会計士第2次試験に、57年に第3次試験に合格し公認会計士として登録。平成11年からは代表社員として専ら監査業務を担当後、18年に退所。山田公認会計士事務所を開設して所長をつとめている。その間、日本公認会計士協会本部理事、同協会近畿会副会長、近畿公認会計士協同組合副理事長等を歴任。

大学関係では、平成12年から学校法人関西大学評議員、16年からは監事を1期つとめ、現在評議員。最初の評議員時代には、非常勤講師として会計実務等の講師を担当した経験もある。

校友会関係では、平成12年から監事を2期、18年から組織部長。また、職域会の公認会計士関大会、関西大学会計人会の副会長もつとめている。

校友会関係では、昭和56年千葉県支部の初代支部長に就任、平成元年には新生東京支部の支部長。7年には東京・神奈川・千葉・埼玉の4支部をまとめて首都圏支部連合会を設立し、長らく会長として関東における校友会活動に貢献された。現在、同連合会名誉会長。東京経済人倶楽部顧問。本部関係では、15年から監事を2期つとめている。



結婚相談の（株）エムロード
大阪・神戸・京都、豊富な会員数と「成婚率の高さがキメテ!!」が大評判!!

「成婚率の高さがキメテ!!」が評判の（株）エムロード大阪・神戸・京都が大好評!!
お見合いパーティーはレギュラー開催をし、ご好評を得ています。〔ザ・リッツ・カールトン大阪/食事・飲物付き〕
「会社と家の往復で、出会いがない」。
「知人に頼むのもなんとなく気兼ねする…」。
そんな方に素敵な出逢いをサポート!!
一般・ドクター・再婚中高年など各コース充実。関西中心に自社会員のみで構成、専任アドバイザーによる親身なお世話が評判です。
★エムロードはここが違う!!　①質の高い会員制②専任アドバイザーによるマンツーマン制③コンピューターは一切使わず、お一人お一人丁寧にお世話させていただいております。④一流ホテルでのパーティーでの出逢い⑤期限なくまとまるまでお世話。⑥お見合い料・月会費無のリーズナブルな定額コース有。



結婚相談

エムロードは関西大学
ご卒業の皆様の
ご結婚を応援致します。

大阪（JR大阪駅徒歩5分）毎日新聞ビル5F
神戸（神戸三宮そごう南隣）神戸国際会館19F
京都（京都産業会館西）オフィスワン四条烏丸6F



お問い合わせセンター　大阪・神戸・京都
よいふうふ　よろしく
0120-4122-46

本社：大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞ビル5F
神戸市中央区御幸通り8-1-6 神戸国際会館19F
京都市下京区室町通綾小路上る鶏鉾町480番地 オフィス-ワン四条烏丸6F

●営業時間／10:00～18:30●定休水曜

エムロード　検索
www.m-road.co.jp
m-road.info

3月17日に寺内新執行部誕生へ

選考委員会からの答申を受け
2月27日に常議員・監事を委嘱

寺内会長から1月24日付で委嘱を受けた常議員・監事選考委員21人は、2月3日に天六キャンパス・有邻館会議室で第1回委員会を開催し、寺内会長が選考に当たっての会長所見を述べたあと、委員長に古川好男副会長、副委員長に大谷啓二事業部長を選出、早速協議に入った。

まず選考基本方針を検討。寺内会長の「母校は、あらゆる分野において『強い関西大学』の構築を目指して大学の改革充実に取り組んでいる。大学発展の一翼を担う校友会も、活力のある若い力を糾合して叡知を結集し、できる限りの努力をしていかねばならない。『強い関西大学』を支える『元気な校友会』を3年間の会是として、全国各地で活躍する35万校友の有機的結合を図って校友会活動の基盤を強化し、『総力結集』『創意工夫』『熟慮実行』のスローガンの下、組織の強化、学生会員への啓蒙、母校への貢献など多くの諸施策を実行して行きたい。そのため、校友会並びに大学の発展、充実に積極的に取り組んでいただける有能な人材を選出していただきたい」との主旨に沿って選考することを基本方針とし、併せて①副会長候補を除く常議員候補者については、年齢67歳未満（答申時）の者から選考することを原則とし、政界関係者は候補者としない。②選考に当たっては、卒業期別・学部別・男女別などの構成にも配慮し、校友の活躍している職業、社会的地位、将来が展望できる人、人格・識見を有する人、企画・立案・行動のできる人等を、校友ネットワークの構築・充実も視野に入れて、各界各層から均衡を失しないよう選考する、など7項目の選考基準を決定した。

その後、5回の小委員会と2回の全体委員会で精力的に選考作業を進め、2月17日に副会長候補を含む75人の常議員候補者と3人の監事候補者を寺内会長に答申した。選考結果は、前期再任44人（58・7％）、新任（元を含む）31人（41・3％）となり、うち女性候補者は12人（16・0％）だった。

答申を受けた寺内会長は、直ちに候補者全員に委嘱状を発送した。

3月11日には第1回常議員が開催され、副会長の選出、顧問・参与の委嘱等を決定、3月17日の第2回常議員会では、常議員の5部（総務・事業・広報・組織・財務）分属が発表され、各部で正副部長を互選して決定し、寺内新執行部が正式に発足する運びとなる。

◇常議員委嘱者（副会長候補を含む75人）

50音順・敬称略

▽池松知永子（昭62学社）新▽石井國男（昭45学経）再▽石原美之（昭46学商）再▽伊藤晃充（昭41学文）再▽今井康雄（昭42学工）再▽芋縄隆史（昭62学商）再▽岩崎圭祐（平6学法）再▽岩田祐子（平3学法）再▽植田芳光（昭48学工）再▽大谷啓二（昭39学商）再▽大濵道子（昭44学法）再▽大東恭治（昭57学法）再▽岡田美由記（昭52学商）新▽沖中龍三（昭62学社）新▽奥村正治（昭48学工）新▽加藤安宏（昭51学法）再▽神原勝弘（昭53高1）新▽木川高志（昭46学法）再▽北靖久（昭62学経）新▽北川俊治（昭45学法）新▽北嶋弘一（昭44M工）再▽草川大造（昭46学法）再▽葛村和正（昭51学工）新▽小坂圭一（昭55学工）再▽小寺一矢（昭42M法）新▽紺木久彌（昭43学工）再▽近藤茂憲（昭50学経）新▽近藤康雄（昭43学経）新▽塩田貴美代（昭55学法）新▽上苻文雄（昭44学商）再▽新庄猛（平3学経）再▽杉本隆史（昭46M工）新▽関根幹雄（昭47学法）新▽祖父江洋二郎（昭53学法）新▽田中正喜（昭51学工）再▽田中義昭（昭43学文）再▽田中義信（昭50学法）再▽谷真明（昭53学法）新▽谷康司（昭52学法）再▽谷口欣久（昭61学工）再▽玉置栄一（昭53学経）再▽辻井宏之（昭57学法）新▽堤勇二（昭54学法）再▽燈田進（昭48学法）新▽戸田光治（昭43学工）再▽中井邦夫（昭45学法）再▽永尾俊一（昭61学法）新▽中川尚子（昭53学法）再▽中瀬和夫（昭42学経）新▽中村博（昭56学経）再▽中本己知夫（昭52学法）新▽仁井ひろみ（昭48学法）再▽西口和広（平4学経）新▽西野京子（昭46学文）再▽長谷川孝夫（昭52学商）新▽畑尚樹（平8学工）再▽原田亮定（昭53学社）新▽福光道太（昭44学経）再▽藤井喜代子（昭51学経）再▽古川好男（昭32学法）再▽古渕孝仁（昭55学法）新▽別處了一（昭46学社）再▽松永明（昭58学2商）再▽松野千尋（昭53学文）再▽馬渕純一（昭48学法）新▽三木允子（昭42学文）再▽三原秀章（昭62学商）新▽三宅信史（昭47学法）再▽宮下文彬（昭46D工）﨑再▽森本和伸（昭62学社）新▽山　浩（昭62学法）再▽山本淑子（昭53学文）新▽渡邊泰之（昭42学法）再▽渡邊善孝（昭56学社）新

◇監事委嘱者（3人）

▽朝倉満（昭34学商）再▽片山久江（昭44学法）新▽竹瀬元紀（昭38学文）新

◇常議員・監事選考委員

臨時代議員会で寺内会長から発表、委嘱された平成21年期常議員・監事選考委員は次の21人（敬称略）。

▽執行部（4人）＝副会長・古川好男、事業部長・大谷啓二、財務部長・石井國男、総務副部長・仁井ひろみ

▽地域支部（7人）＝大阪中央支部支部長・伊藤晃充、平野支部支部長・田中義信、茨木支部副支部長・別處了一、吹田支部幹事長・谷康司、豊中支部副幹事長・関根幹雄、神戸支部副支部長・渡邊泰之、西宮支部副支部長・小坂圭一

▽職域会（3人）＝大阪府庁秀麗会幹事長・谷真明、大阪国税秀麗会会長・中本己知夫、司法書士関大会会長・塩田貴美代

▽関係校友会（2人）＝一高同窓会会長・田中義昭、社会学部同窓会副会長・原田　亮定（

▽各種団体（3人）＝体育ＯＢ会理事長・北川俊治、スポーツマンクラブ会長・中井邦夫、博修士会会長・北嶋弘一

▽代議員会（2人）＝議長・日根直人、副議長・山田拓幸

五千七百余人の新学士が希望と誇りを胸に母校を旅立つ

春は別れの季節である。ほころびはじめた学園の桜と後輩たちの「おめでとう！」の声に送られて、卒業生は思い出多いキャンパスをあとにする。また、「校友会」での出会いの場も待っている。社会経験豊富な先輩たちが温かく「新人」を迎え、同じ仲間として、さまざまなアドバイスを与えてくれる。そこには、関大のもつ人の親和の力がある。

平成20年度卒業式は、3月19日の午前11時から千里山キャンパスの中央体育館で挙行され、5700余人の新学士が誕生する。

また、大学院学位（修士・専門職）記授与式は、3月21日午前10時から第2学舎4号館BIGホール100で挙行され、700余人が卒業する。

今号では、「卒業特集」として、寺内俊太郎校友会長、河田悌一学長、上原洋允理事長から、それぞれはなむけの言葉をいただいた。また、課外活動や資格試験などで顕著な実績をあげた10人の卒業生に「学生生活4カ年の思い出と将来への希望」を執筆していただいた。

さらに、3月末には、校友にとって思い出ぶかい14人の先生方が定年等で退職される。そのなかから代表して6人の先生に、関西大学の思い出と「お別れの言葉」をいただいた。

なお、一足早く2月21日には平成20年4月から併設高校となった北陽高等学校の、23日には第一高等学校の卒業式が行なわれ、それぞれ198人、450人が学舎を後にした。



新卒業生に贈る言葉

社会人への旅立ち、諸君には「校友会」がある



ZF•@ @rY

卒業生のみなさん、今日は社会人への旅立ちの日です。ご卒業おめでとうございます。

母校関西大学での学生生活は如何でしたか？

長い受験勉強後の4年間の学生ライフ、充実していましたか？

私は、入学式から始まった学生生活のなかで、みなさんが専攻された専門分野の学問を基本に関連する学問領域を習得され、多くの人生の友を得られたことと思います。

一方、母校の建学の精神「自由を権力より護れ」、学是「学の実化」、また学歌にあります「人の親和」、「重き使命」そして「高き権威」等の言葉を心に刻まれることで、社会人や大学院への進学など、新しいステップの力になると期待しています。

みなさんが飛び立とうとする社会は今、激動しています。経済は百年に一度の危機、人口の少子高齢化に伴う諸問題、政治の不安定、労働問題、社会秩序の乱れ等、幾多の問題が連日マスコミを賑わしています。これらの社会現象は全てに亘って人間が関与し、その結果として現われた状況だと思います。みなさんは、今日から激動する諸問題を如何に解決するべきか、という課題に直接取り組む立場になります。決して他人事ではなく、自分の問題としてその一端を担う責任があるのです。

それには今まで学生生活で培ってこられた知識と人間力、そして創造力をあらゆる場面で発揮され、大きく貢献されんことを願っています。

母校には卒業生が組織する「校友会」があります。みなさんは卒業と同時にこの「校友会」の一員となられています。現在、校友数は35万人を超え、現役の社会人として20万人の校友が社会のあらゆる分野で日夜、活躍されています。おそらく、みなさんはこれらの先輩校友と社会のさまざまな場面での出会いがあると思います。その時、母校を同じくする「人の和」の素晴らしさを共感し、仕事にそして人生の出会いに、縁と感動をもって体現されると確信しています。この「校友会」は地域支部を含めて全国各地に250以上の団体があります。みなさんの関係する「校友会組織」を校友会のホームページ（http://www.kandaikoyukai.com）で検索してみてください。そして、関連ある校友会組織に所属しましょう。

卒業後のみなさんは「校友会」の会員です。母校との絆を機関紙『關大』でさらに強め、充実ある人生の一助とするために「校友会」活動に参加しましょう。

未来を信じ、未来に生きる有意義な人生を



w@●@@〃c@ €

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

この4年間、みなさんは自分の夢の実現に向かって頑張ってこられた人もあれば、理想と現実のはざまに戸惑い、しばし辛い想いをした人もあることでしょう。今後の長い人生の折々に、みなさんが経験された体験の一つひとつが、忘れ去ることができぬ貴重な体験として、走馬灯のように想い出されるに違いありません。

相田みつをは「人の世の幸不幸は　人と人とが逢うことからはじまる　よき出逢いを」といっています。おそらくみなさんの多くは「よき出逢い」があり、関西大学に学んでよかったという感慨を胸に、友人、後輩、教職員に別れを告げ、この学園を旅立っていかれることでしょう。

しかし、関西大学を卒業する今日を迎えられたことは、陰に陽に支えてこられたご父母、ご家族の存在があったからこそであるという感謝の気持ちを忘れないでいてください。

現在、日本を、そして世界をとりまく状況は、「100年に一度の危機」と称されるごとく、きわめて厳しいものがあります。経済不況、政治不安、官僚不信、環境汚染、格差増大など、まさに大変な現象が日本国内にもみられます。

過去をふりかえれば、いつの時代にもそうした危機的な状況は存在しました。

近代日本の歴史をみてみても、1877年の西南の役、1894年の日清戦争、そして日露戦争、第一次世界大戦、いわゆる満州事変、さらに日中戦争、太平洋戦争の勃発と敗戦。敗戦後の64年間にも、1961年の株式の大暴落、68年からの大学紛争と日米安保闘争、73年の第一次オイルショックと91年のバブルの崩壊等など……。

戦前は戦争という形態で、戦後は経済変動という現象で、それぞれ厳しい時代状況が出現したのです。しかし、私たちの先人は、みなさんのご父母、そして私たちは、そうした苦しい時代、冷酷な現実を乗りこえ、今日の日本をつくってきたのです。

国土が狭く、資源の乏しい日本。その日本には、つねに真剣に学ぶ意欲をもちつづけ、自分自身を知的にも、道徳的にも、成長させていこうとするみなさんの力が必要です。大学を卒業後も、学ぶこと、本を読むことを忘れないでください。

日本の未来、世界の未来は、みなさんがたの努力に依拠しているのです。

関西大学の卒業生であることに誇りと自信をもって、日本でそして世界各地で、少しでも世のため人のためになる、「未来を信じ、未来に生きる」有意義な人生を歩んでくださることを、心から希望しています。

関大卒業生として前向きな人生を



●@a・@m

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

春うららかなキャンパスをそれぞれ希望と期待を胸に巣立っていかれる卒業生の皆さんに、心からお祝いを申し上げます。

勉学はもちろんのこと、かけがえのない友人との出会い、学生時代の喜びや悲しみ等たくさんの思い出と共に、緑豊かなこのキャンパスを後にされることでありましょう。

皆さんは、これから新しい世界に羽ばたこうとしています。しかし、歩まれる道のりは、決して平坦なものではありません。世界的な金融・経済危機の到来で、わが国の経済情勢も深刻化するおそれが高まっています。

このように、大学の就職環境が激変している中、社会や企業が望む学生像がどのようなものかを知っておかなければなりません。

昨年11月28日に、日経新聞社が1万人のビジネスパーソンを対象とする「社会が求めている学生像」について実施したアンケートの調査結果を公表しました。

「社会人となる学生が身につけておくべき能力」としては、(1)基本的なビジネスマナー、(2)豊かな一般知識・教養、(3)コミュニケーション能力、(4)問題解決能力、(5)基本的なビジネス文書作成やメールのためのPCスキル等があげられています。そして、「大学卒業の新入社員に不足している能力」は、との質問に対して、前記の(1)から(4)の順番で欠けていると指摘されています。

また、「社会人となる学生が身につけておくべき姿勢や態度」については、(1)協調性、(2)積極性、(3)前向きさ、(4)誠実さ、(5)柔軟性・適応性等といった事項があげられています。その反面、「新入社員として不足していること」として、(1)打たれ強さ（タフさ）、(2)積極性、(3)協調性、(4)バイタリティ、(5)前向きさ等があげられています。

皆さんがどのような道に進まれたとしても、その出発点において上記のことをよく認識し、社会から求められる人材になるよう努力してください。特に最初の5年間が重要であり、自分の不足しているところを一日も早く補うようにすることが肝要です。

皆さんは、関西大学で過ごした期間、社会から求められる様々な能力に加え、不屈の精神力も培われたことと思います。目の前にいかなる困難があろうとも、それを克服して、乗り越えてください。

どうか、関西大学の卒業生として、打たれ強さとバイタリティで、前向きに人生を歩まれることを期待しています。

卒業にあたって―学生生活4年間の思い出

大学での学びを活かし、新しい仲間と共に頑張りたい

赤松　直子（社4）
平成19年度統一学園祭実行委員会
常任委員会　事務局長



毎年3万人を超えるお客様にご来場いただいている関大の学園祭。この大きな祭のスタッフは全員で500人以上にものぼり、その中で学園祭に関わる全てを管理しているのが一部のスタッフで構成されている常任委員会です。

私は1回生の春、大学で何かひとつ大きなことを成し遂げたいという想いから学園祭実行委員会に入会しました。そこで先輩方の祭を創ることへの熱意に触れ、私が成し遂げたい「何か」は、自分自身の手で関大の学園祭をもっと盛り上げることだと考えるようになりました。

関大の学園祭には歴史と伝統があります。しかしそういったものに固執するのではなく、様々な意見を取り入れる中でより良い祭に変えていきたいと積極的に活動してきた結果、2回生の冬、私は常任委員会の事務局長という1回生からの想いが実現出来る役職に就くこととなりました。事務局長は、委員長のサポートだけでなく学園祭全体を把握した上でスタッフや学校側、各機関等とのパイプ役も担っているため、皆を引っ張っていくというだけでなく、俯瞰的な目を常に持つことを意識して毎日奔走しました。

そんな毎日の中には大変なことや辛いこともありましたが、それをも楽しんで笑顔で乗り越えられたのは、最高の仲間の存在があったからです。足りないところを補い合える、遠慮無く意見を言い合える、一緒にくだらないことを言って笑いあえる、そんな仲間に出会えたことは、私の誇りであり宝物です。

これから待っている新しい環境においても大学で学んだ物事に取り組む姿勢を活かし、また新しく出会う仲間と共に頑張っていきたいと思います。

「仲間」の大切さを知った4年間

浦部　紀衣（文4）



体育会水上競技部。日本選手権では女子100m自由形2連覇、日本学生選手権では女子200m自由形3連覇を達成。第24回ユニバーシアードでは女子400mメドレーリレーで優勝を飾った。日本学生支援機構のスポーツ活動分野で優秀賞を受賞。

大学生活を振り返ると、競泳競技中心の4年間で、大学構内での思い出は多くありませんでした。合宿や遠征などで大学に通えないことが多く、大学の友達も多くいなかった私にとってクラブの仲間は家族のような存在でした。私は4年間水上競技部の部員でしたが、練習の拠点がスポーツクラブだったのでカンカレ、インカレなどといった大学の試合などでしか、クラブの仲間に会う機会がありませんでした。しかし、久ぶりに会っても、私をも可愛がってくれる先輩や慕ってくれる後輩、気兼ねなく騒ぎ合える同回生という仲間に恵まれ、仲が良く家族のような仲間の一員としていられたこと、一緒に関西大学水上競技部員として戦えたことを誇りに思います。去年4月の北京オリンピック代表選考会で、出場権を得られなかった私は、悩み、苦しみ、あと少しの競泳人生を目の前にして辞めようかとも思った時期がありました。その時に、クラブの仲間と話をしたり、練習を頑張っている姿を見たりしているうちに、大学生活最後のインカレ、競泳人生最後の国体までやりきろうと思いました。

仲間がいたからこそ、私は私らしく最後までいられたと思います。本当に仲間にはとても感謝しています。大学4年間を通して、「仲間」の大切さを知りました。競泳競技は個人競技だけれど、チームとして同じ目標を持ったり、試合で一丸となって戦ったりと、個人競技でも「仲間」の存在はとても力になるのだと改めて感じました。

16年間続けてきた競泳で培ったもの、そしてその競泳を通じて出会ったたくさんの人たちへの感謝の気持ちを忘れず、関大で学んだことを活かして、新しい環境でも自分らしく、日々精

関西大学生協グループ
あなたも自動車保険を節約できるチャンスです。
まずは、お見積から。
そんぽ24 自動車保険
インターネットから　http://www.union-sv.com/car
または　0120－24－3724（代理店コード2470213）。
総合保険代理店
Risk Consultant & Financial Planner
株式会社ユニオンサービス
info@union-sv.com　http://www.union-sv.com
本社　豊中市新千里北町2-20-8　関西大学支店　吹田市千里山東3-10-1関西大学生協本部内　TEL 0120-505-421

進していきたいと思います。

4年間で培った力をプロのステージで

大屋　翼（文4）



体育会サッカー部。DF／MFとして活躍、4年生で主将をつとめた。この春からヴィッセル神戸に入団。

大学生活の4年間はとても有意義なものでした。サッカーにほぼ時間を費やしたと言っても過言ではありません。私は体育会サッカー部に入部しました。SFだからという単純な動機でしたが、この選択が私の人生を変えました。

技術面よりも「人間」として学び、鍛えられました。部員数は約150人です。誤解してほしくないのですが、強いチームを作るには少数精鋭が良い方法だと思います。しかし、そのことを理解した上で実行していません。この意図は、多くの人と関わることで、サッカー以外の様々な事を学べるからです。サッカーだけではなく、「人間として」を常に考えているからです。

この環境下で、4回生では主将をさせてもらいました。大人数を同一方向に向かせる難しさ、仲間と協力し問題に立ち向かう姿勢など、多くを学ばせてもらいました。

多くの困難があり、逃げ出したい時もありましたが、多くの人に支えられ、仲間と踏ん張り、克服した時の喜び、達成感など今までに経験したことのない強烈なものでした。

たくさん言いたいことはありますが、サッカー部で過ごした4年間は私の貴重な財産となりました。そのような経験、思いができるチームであり続けてください。この4年間で培った力を今度はプロのステージで活かしていきたいと思っています。お互い刺激し、切磋琢磨し合い、関西大学の名を全国に広めていきましょう。

本当に4年間ありがとうございました。私事ですが、ヴィッセル神戸の大屋翼の方も応援のほど宜しくお願いします。

感謝の心と誠実さを忘れずに

尾山　仁美（文4）

平成20年度文化会本部長



4年間の課外活動で学んだことは、「人は人に育ててもらっている」ということと、「私は私らしくやるしかない」ということです。

私が本部長の任を全う出来たのは、信頼できる仲間に恵まれたからですし、彼らがいなければ文化会27団体の舵取りをすることは絶対に出来ませんでした。今では良い思い出なのですが、始めのうちはプレッシャー等により、うまく立ち行かないことも多々ありましたし、団体や後輩との接し方をやたらと気にしていたこともありました。

しかし、同期と業務を行っていくにつれ、彼らのお陰で、私は偽りの自分では誰も付いてきてくれないことに気付かされ、私の色を出してやっていけば良いのだと思い直すことが出来ました。本部長だからといって特別な能力は何も要らなかったのです。スタイルも重要ではなかったのです。それに気付いてからは、ただ誠実に人と向き合い、そして自分と向き合っていくことを任務として日々を送っていけたと思います。微力であったにもかかわらず、私が本部長でよかったと声をかけてくださった方々がいたことは、人生で一番といって良い程嬉しかったです。

相談に乗ってくださった先輩方や、助言をくれ気遣ってくれた同期、私を信頼して付いてきてくれた後輩たちには本当に感謝の気持ちでいっぱいです。大切な友人たちとの交流は私の貴重な財産となって、一生の糧になることと思います。

最後になりましたが、素晴らしい経験をさせていただいたこの関西大学を誇りに思います。そして沢山の人と出逢う機会を与えてくれた両親に、心から感謝したいと思います。

感謝の気持ちを胸に、謙虚な心で新生活を

土井　隆（商4）

文化会落語大学平成20年度事務長

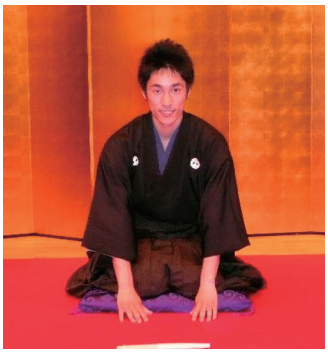
私の大学生活の大半を占めるもの、それはやはり落語大学で



卒業特集

の時間です。

今までの自分とは全く違うことにチャレンジしたい、と落語大学の門を叩いた日が昨日のことのように思い出されます。それほど密度の濃い4年間でした。時には投げ出したくなることや辛いこともありました。自分の不甲斐なさに泣いた夜もありました。これらは全て良い思い出として私の胸に刻まれています。



「笑う門には福来る」ということわざもあるように「笑う」ことは、われわれの生活に欠かせない営みです。

私は、地域の老人ホームへの慰問や小学校への賛助出演等のボランティア活動の中から、笑いによって人を幸せにすることの喜びを知ることが出来ました。幸せそうな笑顔は、私や周りの人まで幸せにしてくれます。人を幸せにすることで自分自身も幸せになれる、そんな素敵な時間を過ごせたことを本当に嬉しく思います。

また、テレビ番組出演やラジオ番組で枠を持たせていただいたり、今年3月には念願だったハワイでの公演にも参加させていただきます。およそ通常の大学生では絶対味わえないような貴重な経験をさせていただいております。

しかし、これらの活動の中で、私個人で果たした役割というのは皆無に等しいです。苦しいとき一緒に乗り越えた仲間や、時には厳しく愛を持ってご指導くださった諸先輩方、影でいつも見守ってくれた家族、活動をいつも支えてくださる関西大学、文化会や地域の方々等、落語大学を支えてくださる全ての人々のお陰なくして今の私たちは有り得ません。本当に有難うございます。

人様のおかげで今の私があるんだという心からの感謝の気持ちを胸に、常に謙虚な心で新生活も充実したものにしていきます。

苦しさの中で支えを実感 優勝でまず感謝の気持ち湧く

鳥居　貴久（法4）

体育会拳法部。平成19年12月の第52回全日本学生選手権大会で11年ぶりの団体優勝。4年生・主将として迎えた20年12月の第53回大会でも優勝を飾り、2連覇を達成した。個人では19年の第10回日本拳法全国都道府県大会で優勝。



大学生活を振り返ると、一番に思い出すのは部活動のことです。部活動を通じて、様々な経験をし、多くを学び、そしてかけがえのない思い出と、多くの人たちとの絆を手に入れました。

高校で達成できなかった全日本優勝を成し遂げるため、伝統ある関西大学体育会拳法部に入部し、全日本団体での優勝を目標として活動しました。下級生の頃は、練習に苦しみ、試合でも思うような結果を出すことが出来ず、幾度となく悔しい思いをしました。それでも、諦めたことは一度もありませんでした。なぜなら、苦しんでいるときにこそ、多くの人たちからの支えを実感すると共に、自分の日本拳法が好きだという気持ちを再確認することが出来たからです。そして、多くの怪我にも悩まされながらも練習に打ち込み、3回生時に団体・個人双方での全国制覇を達成しました。

4回生になり、前年度優勝校の主将というプレッシャーに押し潰されそうになった時、心の支えとなったのは、関西大学体育会拳法部員としての誇り、仲間達との絆、そして自分を支えてくれる多くの人たちへの感謝の気持ちでした。引退試合となる最後で最大の目標であった全日本団体戦で連覇を達成したときには、喜び以上に感謝の気持ちが込み上げました。

在校生や今後関西大学に入学される多くの後輩たちにも、関西大学生としての誇りを持ち、多くの人たちとの絆を大切にし、何より感謝の気持ちを持ち続け、有意義な大学生活を送ってもらいたいと考えます。

最後になりましたが、私の大学生活を支えて下さった、家族、諸先輩方、友人、後輩を始め、大学生活4年間で出会った全ての方々に改めてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

振り返った時、関大の4年間が輝いているように頑張りたい

中谷　彩夏（商4）

体育会馬術部。平成19年秋の第57回全日本学生馬術大会で個人優勝を飾り、43年ぶりの団体優勝に大きく貢献。20年には団体2連覇を達成した。



4年前の4月。私は、スポーツフロンティア入試で入学し馬術部へ入部した。今までの生活とのギャップに戸惑い、毎日の生活をただひたすらこなすだけで精一杯だった1年。忙しさにも少し慣れ、勉学に対してのさぼりを覚えた2年。関大を背負う責任を自覚し、一皮剥けた3年。エースの自覚と最高学年としてのプレッシャーを感じた4年。4年間は長い様で、大変短い日々であった。プレッシャーと戦う、また自らの行動に対しての責任や、それがクラブ全体に関わってくる事の厳しさを痛感する日々が多々あった。しかし、その事によってチームとしての自覚をもち、チームで戦う事の誇りや喜びを感じ、同時にお互いを高め合う事が出来る、最高のチームへと成長したと思う。全日本学生馬術大会で、3年時に個人・団体優勝、4年時に団体2連覇、個人4位の成績

を修める事が出来たのも、何事も相談し合え、時には叱り、時には励まし、共に泣いてくれる総監督はじめコーチや、共に勝ちを追い、「勝つ」喜びを知った仲間が支え合った結果であると感じている。

在学生のみなさん。クラブでも勉強でも恋愛でもいいと思うので、何か自分が情熱をもって追えるものを関西大学で見つけてほしいと思います。4年間という短い学生生活を豊かにするヒントは、沢山転がっています。視野を広げて、行動力をもって取り組んでください。また、もう見つけたみなさんは、後輩へと伝えてほしいです。これが、関西大学の財産となり、みなさんの財産となるのではないでしょうか。関西大学で過ごした4年間が、10年後、20年後にふり返った時、輝いているように、今後さらに頑張りたいと思います。ありがとうございました。

必死で戦う仲間の姿に勇気をもらって努力

前原　愛（文4）

体育会レスリング部。2006アジアジュニア選手権、世界ジュニア選手権に女子51キロ級日本代表として出場、ともに優勝を飾った。



関西大学での4年間は、私にとってとても大きな4年間になりました。4年前、「文武両道がしたい」という思いを胸に、私は関西大学へ入学しました。7歳の頃からしていたレスリングを続けるため、体育会レスリング部へ入部。部活動をする傍らで、学部では心理学を中心に学び、アルバイトもしていました。

部活動の面では、仲間たちや指導者のみなさん、OBの方々、そして関西大学全体のサポートのおかげで大学2年生の時、全日本ジュニア選手権で優勝することができ、その年のアジアジュニア選手権、世界ジュニア選手権も日本代表として優勝することが出来ました。しかしこれは、周囲の人の応援があったからこそだと思います。団体戦では、男子だけの開催なので応援側として参加し、西日本リーグで1部昇格、1部残留という結果を残すことも出来ました。見ているだけで泣きたいほどのプレッシャーの中、必死に戦う仲間たちの姿を見て、勇気をもらい、自分も頑張らなければと思えました。一人では出来ないことも、沢山の人が力を合わせれば出来るということを、部活動を通して実感しました。

もちろんこの4年間で辛いことや挫折もたくさんありました。しかし、その経験をすることによって、学んだこともたくさんあります。周りの人の支えも大きく、いろんな人たちに何度も助けられました。大学生活を振り返ってみて、出会った人たちや経験したことはこれからの人生において私のかけがえのない財産になると思います。関西大学で過ごせたこと、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

一緒に努力する仲間と周りの人に支えられて

丸岡　知樹（商4）

公認会計士試験に現役合格

自分の大学生活を振り返ると大きく二つに分かれると思います。一つは、学園祭実行委員、そしてもう一つは公認会計士試験です。

学園祭には、主に1・2回生時に携りました。自分は大した仕事をやったわけではないですが、全員が力を合わせて学園祭を成功させたときの感動は何事にも替えられない大切な思い出です。



右側が筆者

3回生になると、専門学校と大学とのダブルスクールという形で公認会計士試験の勉強を始めました。最初は大学に行く比重が高かったのですが、3回生の冬頃になると専門学校の授業も本格化し、生活が多忙になっていきました。時には成績が全く上がらず落ち込んでしまい、全くやる気が出ないこともありました。しかし、「勉強をするからには、必ず現役一発合格する」という気持ちを持ちながら約1年半勉強に励んだ結果、無事に合格する事ができました。合格発表時、自分の努力が報われた事にただただ安堵しました。

この4年間、自分は周りの方々に支えられて過ごしたのだと思います。学園祭では学部を超えて、素晴らしい先輩、後輩、そして同期に出会うことができました。公認会計士試験では合格という一つの目標に向かって一緒に勉強をする仲間に出会うことができました。4年間充実した時を過ごせたのは周りの方々に恵まれたからであると思います。本当にありがとうございました。

4月からは大学を離れ社会人となりますが、この4年間で築いてきた人との繋がりを大事にし、さらに、新たに築かれる人との出会いを大切にしていきたいと思います。

たくさんのことを学ばせてくれたボランティア

湯浅　利英子（文4）



ボランティアセンター学生スタッフ

ボランティアセンターでの思い出の中で、4回生の時の学園祭は印象的です。エコフェスティバルという企画で、関西大学の省エネ活動を紹介したり、エコバッグの作成体験をしてもら

ったり、子供も遊べるゲームを用意したりと、内容盛りだくさんでした。

私はこの企画の代表を務めました。学園祭直前になって、準備の忙しさにもめることもありました。しかし、4日間の開催期間で参加者数は700人を超え、エコフェスティバルは目標を見事達成して幕を閉じました。

アンケートの集計をしていると、たくさんのメッセージが書かれていました。「今の学生も捨てたもんじゃないな」「子供と一緒に来ました。これから家族でエコに取り組んでいきます」「自分たちの活動を信じて頑張ってください」。エコフェスティバルがお客さんの心に残ったのだと実感できて、とても嬉しかったです。一緒に活動に取り組んでくれたスタッフメンバーや職員の皆さんには本当に感謝しています。

学生スタッフになって、本当にいろんな経験をして、私の大学生活はとても充実しました。ボランティアというと、まず「人のために」というイメージがありました。しかし、まずは自分と周りの人たちで一所懸命活動して、それが多くの人に伝わればいいな、と今は思います。

これから社会に出ると思うと、環境の変化に不安が胸をよぎります。でも、エコフェスティバルのような啓発活動から、清掃活動、植林や学校ボランティアまで、やろうと思えばできることがたくさんある、と知りました。新しいことへ挑戦するのをためらわずに頑張りたいです。

大学を去るにあたって

ありがとうそしてさようなら関大

法学部教授　若田　恭二



本年3月で定年退職することになりました。1980年4月に着任してから29年です。月並みですが、長いようで、あっという間の29年でした。この間にキャンパスも見違えるほど変わりましたし、教室の雰囲気もずいぶん変わりました（あのころ、法学部の教室では女性はまだチラホラでした）。

関大に来たとき私は37歳、ここに骨を埋めると決めていたわけではありません。けれども着任してすぐに、この大学の自由・闊達な学風を吸って、ここが最高の職場に思えてきました。つい定年までお世話になった次第です。私に自由な学問の場を与えてくれた関大に感謝です。

あのころの先輩の先生方も、今はもうほとんどここにおられないのは寂しいかぎりですが、自由な学風は今もこのキャンパスに吹いていると感じます。大学が自由な知と言説の砦だと言うのは古くさいようですが、中世ヨーロッパ以来、大学の根本的存在意義として、それは今なお変わるものではないでしょう。

私は着任以来ずっと「政治心理学」という学際的な講義を担当してきました。この講義で何を人々に伝えなければならないのか、私なりに全力を注いできたつもりです。私の話に耳を傾けてくれた学生諸君（もちろん大半は今ではOBですが）に今一度心から感謝します。私は大学の一線から退きますが、これで私の学問の道が終わるわけではありません。これからの私の学問は、もう論文を書くためでもなく、学生に教えるためでもありません。けれどもローマの哲人ネセカも言ったではありませんか。「生きることは学ぶことである」と。また道元禅師も言いました。「修業とはただ生きるためである」と。究極的には、学問は何か目的があってするのではなく、むしろただ生きるためなのです。

教えられた「優勝の重み」学生諸君の健闘を祈るや切

文学部教授　武智　英裕



振り返れば、そこには多くの感動と感謝があった。

昭和36年4月に助手として就任し、刻々と歩んできた48年は、思えばあっという間であった。常に、日日の授業に私の原点はあり、学生と語り合い、学生とともに動き、学生と多くを共有することを最上のよろこびとしてきた。

就任当時、学舎は点々として散らばり、長閑で自然環境絶佳であったキャンパスも、時が流れ、景観は一変した。これらはまた歳月とともに四囲と同化し新しい環境をつくり出していくであろうが、往時の景観には文字や言葉では語れない多くの説得があり、寂しさを隠せない。

想い出は美しく、苦く、そして懐しいものであるが、私にとってサッカー部とのかかわりには格別のものがある。昭和46年、学園紛争後の低迷期にあったサッカー部の部長を引き受けてから今年で38年になる。その間、創部以来の二部リーグ降格や度重なる入替戦などを苦難と我慢の年月は20年を超えてつづいた。

しかし、伝統の根は生きつづけ、平成5年の関西選手権初優勝を機に徐々に力をつけ、その後今日までの間リーグ優勝4回、選手権優勝4回など関西では上位の力を保つまでとなった。だが、われわれの目標とする全国優勝への壁は厚く、その実現へ向けての挑戦は10年余を重ねたが、遂にその時は来た。

平成17年7月、学生王者を決める「総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント」決勝で早稲田大学を破り、念願の学生日本一を果たしたのである。創部85年目の史上2度目の全国制覇であった。あの時の感動は今も尚鮮明。試合終了を告げるホイッスルの瞬間、この勝利を「思い切り信じようとした」のを覚えている。長かったこれまでの思いが一気に噴き出し、なぜか涙がとまらず、我を忘れた。

全国制覇は簡単に成し遂げられるものではない。日本一を目指すには、日本一の練習をし

なければならない。この覚悟は並大抵のことでなく、しかもそれは心身の充実した日常生活が当り前のこととならなければ、到底目指せるものではない。改めて教えられた「優勝の重み」であった。

私は現役をあずかる一人として、部員達が勉学とサッカーの敢えて二兎を追い、連日の厳しい練習に「真向きに」打ち込み、真実、「赤のユニホーム」を着るにふさわしい選手としてどのように「自己」を培っていくか、をじっと見守ってきた。そしていつの頃からか、部員が懸命になっているとき、誇らしく輝いているとき……その折々の姿・顔を見逃してはならず、それが見えなかったり、見落してしまうようでは、私の役目はない、と自らに言い聞かせてきた。

卒業していった多くの教え子の中には、何人もの孫がおり、すでに年金生活に入っている者もいる。そんな連中から毎年手書きの年賀状が届く。近頃の返信の一筆は「転ぶな、風邪引くな……」である。最終講義の後、クラッカーが飛び、テープが舞うサプライズのなか学生たちと腕を組み合って「逍遙歌」の輪の中へ。胸がつまった。

大学を去るにあたり、深い感謝を込めて関西大学の愈々のご発展を祈念いたしますとともに学生諸君のご健闘を祈るや切。

懐の深い関西大学

文学部教授　橋本　征治



関西大学文学部助手に採用されたのが昭和46年（1969）のことだから、まる40年間にわたって関西大学でお世話になったことになる。随分と長いようで、実はあっという間の歳月であったように思う。不束な筆者がなんとか無事にこの間を全うできたのも、先生方、学生・卒業生諸君、事務の方々、研究仲間、その他有縁の方々の支えがあったからこそと、その有り難さをしみじみと噛みしめ、深く感謝しているところである。

省みてつくづく感じるのは関西大学の懐の深さである。才気煥発な学生が際立って多いわけではないが、一言では括りきれないほど多様な才能を持った学生たちが実に伸びやかに好きなことをして育っている。それが関大生の良さだ。彼等は社会に出てから見違えるほど大きく成長し、時にそうした姿を見せに来てくれる。それが実に頼もしい。その土台のかなりの部分は、多様な彼等を受け入れ4年間にわたって育んできた関大の懐の深さに由来するものとみている。さらに言えば、大阪という風土も関わっているのかもしれない。

研究面では、関大の研究水準が飛躍的に高まり、外部への研究発信力が強化されていることは、多彩な研究機関の設置、各種の国際的シンポジウム開催、それらを裏付ける外部ファンドの獲得力などから明らかであり、外部評価も高まっている。今後ともそうした力を維持・強化し、絶えずステップアップしていかねばなるまい。一方、若手も含めて個々の研究者が伸び伸びと研究できる環境や条件を整えていくことも肝要である。筆者が40年間にわたって、伸びやかに自由に研究できたのも、そうした場と条件をしっかりと確保してくれた包容力の大きさによるものである。改めて、関大の懐の深さに敬意を表したい。

出会いで決まった人生

システム理工学部教授　石原　勲



人生は出会いで決まると言われるように、今の私があるのも多くの方々との出会いによるものである。創設間もない工学部機械工学科に入学して以来、半世紀が過ぎた。まさか定年退職を関西大学で迎えることになろうとは、大学の卒業時には思いもよらないことであった。

卒業研究として熱工学研究室の選択が、私の人生を決めたといって過言ではない。卒業時に当時研究室の指導教授の勝田勝太郎先生（現名誉教授）から研究室の助手にならないかと勧められた。当時は創立間もないことで、研究用の実験設備や計測器がほとんどないなかで、われわれ10数名の卒研生には、それぞれ先生の専門を生かした研究テーマが与えられた。私は、電気冷蔵庫の熱交換器の伝熱の研究テーマを頂いた。今では技術の進歩でこの形式の熱交換器は用いられていないが、学科の事務室に置かれた冷蔵庫は、まだ現役でその背面にはその熱交換器が付いて、懐かしさと技術の革新を感じさせる。

当時は、新生工学部を早く一人前に、同時に大学の存在を広くアピールするために、先生方は学生の教育や研究に並々ならぬ情熱を傾けておられ、そして学生との交流や親交を深めるように努められていた。そんな中で、機械工学科では「機友会」が組織され、工場見学会、運動会やバス旅行が開催された。また会誌「機友」が刊行され、学生、先生や卒業生が投稿した。

その後の学園紛争で休止のやむなきに至ったが、機友会が再編されインターネットを利用した活動が軌道に乗っている。一期生が卒業して45年、多くは退職しているが、それに続く卒業生は、機械技術者としての活躍や相互の交流の情報は機友会を通してもたらされ、多くの出会いの機会を提供している。また先輩諸氏の企業における著しい活躍は、後輩の就職にも反映して有利に展開している。学科の就職担当を何度か経験し、人事担当者と共に求人に来てくれて、国内はもとより海外でも活躍している状況に、技術立国日本を支える人材としてなくてはならぬ存在になっていることを実感している。

卒業特集

卒業生に感謝

環境都市工学部教授
鈴木　俊光



関西大学に着任して以来19年の歳月が経過し、3月末に私も大学を卒業することになった。長いようでもあり、瞬く間にすぎたように思える期間であった。着任して感激したのは、事務方が大変親切に新参の者に対応してくださったこと、さらに多数の学生に対しても適切なアドバイスを与えておられたことで、私立大学の良さを強く感じた。また、建学の精神が隅々まで浸透していて、極めて公平、公正な大学という強い印象を持った。

然しながら、いささか困ったことは学部4年次生の卒業研究や、大学院生の研究実験を行うための設備が不十分で、研究室らしい体制を整えるのに数年を要した。如何に、学生・院生諸君が優れた研究をしてくれても、科学・技術の分野ではそれを客観的に証明するための機器が必須である。また、成果の発表が遅れをとり、他の人に発表を先んじられるとその研究成果は残らない。世界で多くの研究者がしのぎを削っている中、研究のスピードが求められる。

幸い、現在では法人の尽力で世界の先端に伍していける大学にまで発展してきたことは、まことに喜ばしい限りである。この間研究室に配属されて、卒業研究・大学院での研究活動をともにしてくれた学生・院生の諸君に改めて心から感謝の意を表したい。また、社会に出て、これらの卒業生諸君が活躍していることを耳にすることは教師冥利に尽きるものである。

自然科学系の大学では、座学ももちろん大切であるが、実際に自分の手を動かして頭で考えたことを実験実践することは、将来、技術者・研究者として技術開発に携わる学生の教育の最も大切なところである。現在、途上国に追い上げられているとは言え、日本の工業製品の質の高さが誇れるのは、優れた技術者を多数生んできた日本の高度な大学教育にあった。このためにも、設備の充実は欠かせなく、私の在職中の本学の発展も目を見張るばかりであったと確信している。

さて、最後に一言申し添えるなら、少人数の専任教員で、多数の学生を教育しているのでやむを得ないが、私の見るところでは、今ひとつ在学生、卒業生の関西大学への帰属意識が薄いように感じる点である。優れた大学の一つの条件として、校友が如何に大学を支援する体制ができているかという点もあげられよう。すでに立派な校友会組織があり、毎年盛大な活動をされているが、より多くの卒業生の方が関西大学に学んでよかったとの思いを持ち、さらに今現在学んでいる学生に伝統を引き継いでいけるような校友会に一層発展されることを祈念するものである。

貧乏慣れの時代

化学生命工学部教授
小松　伸也



早いもので関西大学に来てからもう36年たった。9年2月現在、満69才と10カ月だから、半生以上をお世話になったことになる。きた年の10月から第1次石油ショックが始まって、出ていく今年度も夏までのガソリン値上げで、第何次かの石油ショックになるかと思っていたら、もっとひどいことになった。

この間、学科名も金属工学から材料工学、先端マテリアル工学と変わって、現在は化学・物質工学である。若い人の片仮名入りがよいという意見で三番目の名称を受け入れたが、困ったのは大学院生の履歴書で学歴の項に専攻名が収まりにくくなった。記念事業募金も100周年で終わりかと思ったら、120周年が来た。何でも長ければよいと言うものでもない。

表題の貧乏慣れだが、筆者も御多聞に漏れず若いときは金がなかった。所帯を持って子供ができて、仕事ばかりでは疲れが溜まるが、かといってゴルフやテニスは費用もかかるし、柄ではない。阪大のころには裏山をあるいて柴栗を拾い、研究室で栗飯を炊いた。日曜日や夏休みにも、弁当や水筒を持って裏山を歩くのが一番安上がりだということに気がついた。

下手な渓流釣りの出先で、山葵の見分け方と葉と茎の食べ方を教わった。山菜の本を買い込んで、山芋、独活（うど）、タラの芽なども判るようになった。新芽を食べるのでアクが強く、発癌物質も含んでいそうなので、大量にはとらない。それでも春先に独活やタラの芽が手に入れば、春の香りを楽しんでいる。

工学部に近い馬場の裏山には20年ほど前まで、独活や山芋があった。卒業式の頃には独活を取って、生味噌で食べた。11月初旬にはアーチェリーの射場があった辺りで、無単位だが必修の山菜実習と称して、学生と山芋を掘り、生そばを買ってきて山かけにして食べた。

さて、貧乏慣れの技術とは、遊びには里山歩きを、行けない時には本を読め、ということに尽きる。人とは違う着眼点を持つように観察眼を養うことは財産形成である。

●14人の先生が退職●

3月31日付で次の14人の先生が定年等で関大を去られることになった。

▽法学部（1人）若田恭二教授▽文学部（4人）武智英裕教授、橋本征治教授、笈田欣治教授、田村典子教授▽総合情報学部（1人）佐野匡男教授▽システム理工学部（4人）石原勲教授、栗山惇教授、原武久教授、小嶋敏孝教授▽環境都市工学部（1人）鈴木俊光教授▽化学生命工学部（2人）小松伸也教授、石井康敬教授▽法務研究科（1人）北川俊光教授。

新卒業生の皆さんに

新卒業生の皆さんへお願い

このたび新しく社会に羽ばたかれた新校友のみなさん！あなたの肩には35万人余の先輩校友の温かい目が注がれています。一日も早く私たちのスクラムに加わり、ともに新しい道を切り拓き、母校の発展に寄与していこうではありませんか！

基本カードの提出を4月10日までに

皆さんにお送りしております ご案内に同封のはがき（平成21年3月卒業・校友基本カード）に必要事項をご記入の上、ご提出下さい。校友会が大学当局から委託された校友の名簿管理の基礎資料となります。今後、現住所、勤務先など変更された場合には、早急にご連絡下さい。

新卒業生名簿を7月初旬に発行

校友会では、校友相互の親睦を深めるために今年度卒業生のみを収載した名簿を7月上旬に発行します。この名簿は、校友相互の親睦のためにのみ利用し、第三者に提供しないことを誓約し、住所等を掲載される方のみ予約できます。A4版・約120頁・予約定価2000円（〒共）。予約された3月卒業の校友にのみ頒布いたします。

また、この名簿に住所や勤務先の掲載を希望されない方は、はがきの該当欄にチェックをお願いします。その場合は、名簿へ掲載せず、校友会の地域支部等への連絡も行わない「公開不可」扱いとします（後述の「個人情報の取扱いについて」参照）。なお、ご返事が無い場合は、原則として名簿への掲載を了承された「公開可」扱いとします。

名簿の内容は、卒業生を学部別・学科別に配列し、氏名・勤務先・住所・自宅電話を掲載しています。

「関西大学校友カード」の申し込みを

校友会では、「関西大学校友カード」を発行し、既に1万5000人に及ぶ校友が持っています。校友カードはJCB・UCビザ・UCマスター・VISA（三井住友）の4ブランドと提携し、本来のクレジット等の機能を持つほか、校友のみが所持できる会員証的機能を併有、さらに校友カード独自の特典として、提携優待店の協賛を得て特別割引等の特典を設けています。

社会人として第一歩を踏み出す皆さん！校友としての友好の絆と、母校との親しみをより一層深めるための絶好の機会です。校友のステータスシンボルである「関西大学校友カード」をお申し込み下さい。折り返しカード会社より申込書をお送りします。

個人情報の取扱いについて

校友会では、本会の目的達成のため大学から提供いただいた個人情報を厳重に管理し運営しています。登録する情報は、氏名・フリガナ・性別・生年月日・卒業年・学部学科と、皆さんから基本カードでご連絡いただいた住所・電話・勤務先です。なお、今後、この情報は大学と共同利用します。

個人情報を利用するのは次のような場合です

(1)機関紙「關大」の送付、(2)大学からの案内や就職に関するアンケート等の送付、(3)お住まいの校友会地域支部や関係の同窓会より総会等の案内状の送付、(4)在学生の就職活動の支援（キャリアセンターでは先輩校友への失礼が無いよう指導し、所定の手続きを行った上で校友名簿及び在社名簿の閲覧を許可しています）、などです。校友名簿への掲載、地域支部等からの案内や在学生の就職活動での利用を希望されない方は、文書で校友会事務局までお届け下さい。いつでも開示しない「公開不可」扱いにします。なお、お届けが無い場合は、原則として「公開可」扱いとします。

個人情報は第三者に開示・提供しません

校友会では、会員の承諾が無い限り登録された個人情報を、法律に基づき開示しなければならない場合を除き、第三者に開示・提供しません。

個人情報はいつでも開示・変更または削除できます

校友会では、会員本人より申し出があった場合に限り、その本人の登録情報を開示します。また個人情報の追加・訂正または削除は、本人の届け出により行います。引っ越し、住居表示の変更などの場合は、ご連絡下さい。

最近、関西大学卒業生に対して、関西大学や校友会と紛らわしい名前を騙り、電話やはがきで個人情報を集めているケースがありますのでご注意下さい。

個人情報の問い合わせには、必ず発信元の電話番号や住所を確かめた上でご返事下さい。不審な場合は、校友会事務局（電話06−6368−0045〜8、FAX06−6380−8476）までお問い合わせ下さい。

個人情報は厳重に管理しています

校友会では、個人情報の紛失・誤用・改竄や外部からの侵入がないよう厳重に管理し、一般の利用者がアクセスできない安全な管理下に保管しています。

内外国 特許・商標・出願全般
特許侵害事件
鮫島国際特許事務所
所長・弁理士 鮫島武信
〒550-0013 大阪市西区新町1丁目2番13号 新町ビル905
（地下鉄四つ橋線四ツ橋駅 1A号出口 北へ3分
地下鉄四つ橋線本町駅 22号出口 南へ5分）
電話大阪 06(6531)7431(代) ファックス 06(6531)7435
Eメール office.samejima@nifty.ne.jp

きらっと校友録

Kandai Kiratto

Part 17

高谷さんは、キャリア十二年の税理士。会社勤めの人にとっては接する機会のない職業かもしれません。税理士とは税務に関する専門家のこと。適正な納税義務の実現を図るため、事業主などの相談に応じ、各種税金の申告・申請、税務書類の作成、税務相談、税に関する不服審査手続きなどを行っています。「毎年の税制改正に対応していくのは大変」とのことですが、クライアントとの間で感じているやりがいや今後の目標をお聞きしました。

女性も資格が必要な時代 そう判断して税理士に

高谷さんは法学部法律学科を卒業後、関大大学院の法学研究科に進みました。大学院では故本浪章市先生の指導のもと国際租税法を研究。その中でも特に企業が海外取引をする際の二重課税の問題について勉強するうち、海外取引の社会的な背景に興味を持ちはじめ、次は社会学部の産業社会学科に進むことに。

そこでは、自由な指導方針で、どのような専門法学研究科から社会学研究科へ進んだのは研究の一連の流れからですね。本浪先生には進学時だけでなく、税理士を目指すことを決めた時にも相談にのっていただき、本当に親身に指導していただきました。社会に出てからは、大学院での学術的な研究を実際の日常業務にそのまま活用することは稀ですが、法学、社会学ふたつの研究科を修了したことによって、多角的な側面から物事を考えようとする癖みたいなものが身に付きましたね。それは今の税理士の仕事にも大いに役立っていると思います」。

実は高谷さんにとって税理士は、大学院に残るか、就職するかを考えたときの選択肢のひとつだったそうです。「これからは女性も資格が必要よね、なんて友だちと話をしていたんです。そしたら、たまたま近くの生徒でも受け入れるという故野崎治男先生に学びました。もともと野崎先生は本浪先生のお知り合いだったそうです。「進学の際に本浪先生にご紹介いただいたんです。ですから、に税理士を目指している友人がいたので影響されました。いつまでも親のスネをかじるのもどうかなぁと思って（笑）。それで、早く自立したいと思い税理士を目指すことにしました」。

大学院の二年目からは週に二～三回程度、岡村忠弘税理士事務所でアルバイトをはじめ、大学院を修了後、税理士としての実務がスタートしました。



①



②

実務と専門学校での勉強、内勤、外勤を経てキャリアアップ

事務所に入ってからも税理士の勉強のために夜間や週末には専門学校に通ったという高谷さん。法人税や相続税、所得税、消費税など税法ごとにコースが分かれていたので、途切れ途切れではありましたが、二年間ほど通ったとか。実務と専門学校の両立で忙しい日々を送りながら、着実にキャリアを積んでいきました。

結婚を機に最初の岡村事務所を辞めます。ご主人はなんと関大の文学部 史学地理学科出身。大学時代から共通の友達を通してみんなで遊びに行ったり、飲みに行ったりしてお付き合いを深め、二〇〇一年にゴールイン。今は旧姓の高谷で仕事をしていますが、実際は谷口美喜子さんです。

結婚後、次の事務所に行くまでの一年間は、実家のある淡路島へ出かけて行って地域の商工会を担当。会員の決算を見たり、税務相談会の相談員として税に関わる仕事を手伝っていました。

一年後、ふたつ目になる上田公認会計士事務所に入ります。最初の事務所と異なり、外に出る機会が増え、月の三分の二はクライアントと接していたとか。上田会計は医療機関に特化していたため、クライアントとして

大学院で法学、社会学ふたつの課程を修了し税理士の道に

髙谷　美喜子さん

プロフィール
髙谷　美喜子（たかたに　みきこ）さん
税理士、ファイナンシャルプランナー。
一九九一年　関西大学 法学部 法律学科卒業。
一九九四年　関西大学 大学院 法学研究科 私法学専攻 博士課程 前期課程単位修得。
一九九六年　関西大学 大学院 社会学研究科 産業社会学専攻 前期課程単位修得。同年岡村忠弘税理士事務所に入所。その後、上田公認会計士事務所を経て、現在の岡村・玉野税理士法人。
趣味は海外でのスキューバダイビング。

は開業医が多く、節税の相談をよく受けたと言います。現在の岡村・玉野税理士法人では、外に出ることは月に三分の一程度に落ち着いたそうです。

仕事面での苦労を聞いてみました。

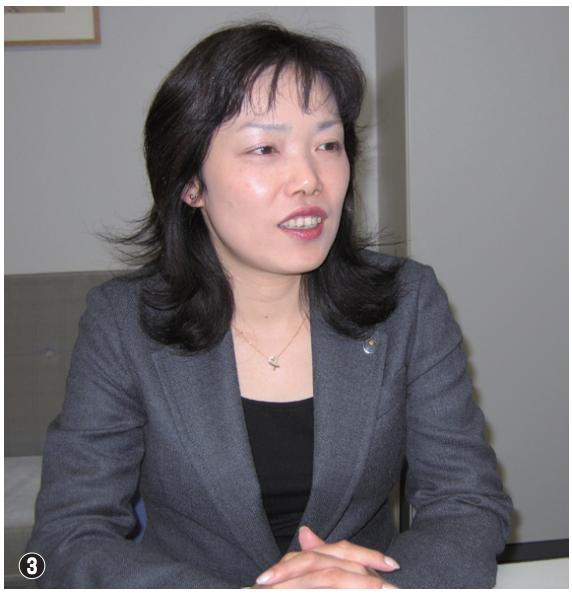
「そうですね、毎年の税制改正に対応していくのが、まず大変です。それと、税理士の仕事は何かひとつ担当すると法人税や所得税が絡んできたり、将来的には相続税などいろいろな税が関係してくるんですね。ですから、複眼的に見る必要があるので気が抜けません。そういう意味ではここ何年かで改めて難しさを感じています」。

人間的なつながりを日常業務の中で育み続けたい

税理士として中堅キャリアの髙谷さん。直接クライアント先に出向き、さまざまな相談に応じていますが、担当歴の長いクライアントでは五、六年になるそうです。毎月の月次決算の訪問が年に十二回。それが五、六年ですから、結構深いお付き合いだとか。慰安旅行をはじめ、納涼会や忘年会にお誘いいただくこともあり、ますますコミュニケーションが深まっています。気軽に相談されることも多く「不動産、会員権の売買契約、大がかりな設備投資をする際に、頼っていただけるととても嬉しいですね」。

また、ファイナンシャルプランナーの資格を生かし、個人のライフプランを考えての資金計画をアドバイスすることもあります。

趣味はご主人とのスキューバダイビング。年数は税理士資格よりも長いそうですが、「年数が長いだけで潜った本数はそんなに多くないんです。ですから、他の人には迷惑をかけるので、主人と一緒じゃないと潜れないくらい」と笑います。今の事務所は少人数のため休みの調整が難しく、ここ三、四年は潜っていないとのことですが、以前は年に一度、四泊五日程度で海外へ。ご主人と休みが取れたら、また、大好きな南の島に行きたいといいます。


③


④

❶ 沖縄でダイビング（2003）
❷ セブ島でダイビング（2002）
❸ インタビューに答える髙谷さん
❹ 上海旅行（2004）

最後に、税理士として将来的な目標を聞いてみました。「税を通して、私自身が人間的に成長し、さらに有益な情報や知識をクライアントさんに提供することです。というのも、便利な会計ソフトが出てきたり、税理士法改正による規制緩和で業界環境が変化する中、生き残っていくのは大変になると思うんですね。だからこそ、親身になって対応する人間的な部分が大切になるんじゃないでしょうか。税は、例えば相続税ひとつをとっても同じことはなく、毎回違いますし、新しい発見もあります。実践イコール勉強。そこから得られることが全てですので、しっかりと日常業務の中で経験を積んでいきたいと思います」。

2009スプリングフェスティバルは4月5日(日)
～千里山キャンパスで開く校友デー～

全国各地から校友とその家族が集う「第24回スプリングフェスティバル～桜の母校によっといデー～」が、ことしも4月5日（日）に開かれる。創立120周年を機に、いっそう施設・設備の充実が図られ、美しいキャンパスに様変わりしたなかで、学生時代を想い旧友との友情を深め、クラブ現役学生との交歓をはかり、また、躍進をつづける母校の姿をご覧いただきたいと思います。

なお、校友会受付テントでは、当日の催し内容とキャンパス地図を掲載した「プログラム」を配布しています。まず受付テントにお寄りください。

◆日　時　平成21年4月5日(日)午前10時～午後3時
（時間内にご自由に来学ください。雨天決行）

◆場　所　千里山キャンパス（阪急電鉄「関大前」駅下車）
（構内に駐車場はありませんので、電車をご利用ください）

テントブースでは 中部地方物産展やバザーなど





行事

◆歓迎セレモニー……午後1時から千里山中央グラウンドにおいて、寺内俊太郎校友会長、上原洋允理事長、河田悌一学長の歓迎の挨拶につづいて、応援団（リーダー部・吹奏楽部・バトンチアリーダー部）学生の演舞・演奏や学生ダンスサークル「漢舞」の華麗な舞が披露されます。

◆野点・俳句コーナー……悠久の庭に野点会場を設け、茶道部の学生たちが自慢のお点前で校友の皆さんをもてなしてくれます。また、俳句コーナーもありますので、キャンパスの春を彩る桜花のもとで詠んだ作品を「春の俳句大賞」にご応募ください。大賞1点、優秀賞1点、佳作3点に入賞の方には、関大グッズ等をプレゼントします（後日発送）

◆進学相談コーナー……新関西大学会館北棟1階のロビーに「進学相談コーナー」を設けて、教職員が大学、併設校への進学希望の相談に応じます。

◆テントブース……総合図書館前にはたくさんのテントを設営、「中部地方物産展」をはじめ、校友会各支部・団体の協賛で多彩な催しが行われます。

＊餅つき大会＝一高同窓会から、つきたての餅が配られます。
＊曲芸&マジックショー＝午前11時から大阪中央支部が主催し、観に来られた先着100人に手品グッズのプレゼントを用意しています。
＊バザー・ガレージセール＝女子秀麗会、吹田支部が行います。
＊中部地方物産展＝毎回好評を博している「地方物産展」は、ことしは「中部地方物産展」として、愛知支部、北勢支部、三重中勢支部・南勢支部、岐阜千里会、静岡支部の協賛で、各県の名産品を安価で販売します。

見学施設

見学施設企画展を開催

◆総合図書館……春季特別展「長谷川貞信」
図書館が所蔵している上方の浮世絵師、長谷川貞信（初代、二代、三代）の作品を特別展示します。貞信の作品は、役者絵、風景画、武者絵、玩具絵など多岐にわたっており、上方の歴史・風俗・文化の研究に不可欠な資料です。豪華な色彩、彫り、摺りを堪能ください。

◆関西大学博物館……（簡文館）
春季企画展「菅楯彦の生きた時代～『職業婦人繪巻』の世界～」
博物館では、なにわ・大阪文化遺産学研究センターとの共催で、このほど寄贈を受けた菅楯彦の「職業婦人繪巻」を展示します。全長14メートルの大作で、電話交換手、美容師、看護婦など、当時の職業婦人を描くと同時に、農作業従事者など、市井に生きる女性たちの姿をうつしとっています。
また、総合図書館所蔵の菅伯作品も紹介し、なにわ・大阪を代表する絵師・菅楯彦と画伯が生きた時代をご覧いただけます。

◆年史資料展示室……（簡文館）
特別展「学の実化（じつげ）　山岡順太郎・倭　父子展」
年史資料展示室では、関西法律学校から総合学園へと発展してきた母校のあゆみを紹介しています。また、特別展として、千里山学舎の建築と大学昇格に尽くし、「関西大学中興の祖」と呼ばれる山岡順太郎と、その長男で北陽高等学校創設の功労者、倭氏の縁の品を展示しています。

◆高松塚古墳壁画再現展示室…（簡文館横）　昭和47（1972）年3月、網干善教先生を中心に本学大学院生、学生が行っ

た高松塚古墳の発掘で、日本ではじめて彩色壁画が見つかり、考古学ブームを巻き起こしました。発掘から35年を記念して作られた「高松塚再現展示室」で当時の壁画や石室をご鑑賞ください。

◆**豊臣期大坂図屏風**……陶板画（第1学舎1号館内）

オーストリアのグラーツ市にあるエッゲンベルク城が所有する豊臣期大坂図屏風を、陶板画に復元。堺の宿院から住吉・天王寺・大坂をへて宇治平等院まで描かれており、大坂城を中心とした街並み、大川の水運など、繁栄する大坂の都市生活が生きいきと描かれています。

◆**校友・父母会館**……100周年記念会館と関西大学会館の間には、校友・父母会館が3月12日に完成。当日は入館できませんが、美しい外観をご覧ください。

食事・弁当・飲物

◆**生協本部食堂**……総合学生会館メディアパーク凛風館2階の「ダイニングホール　ディノア」では、各種和洋定食、麺類、丼物をはじめ子ども向けメニューもそろえ、教室等で開く総会や懇親会を開く祭に入用の弁当（1000円・お茶付）やパーティ用特別料理や飲物も承ります。ご希望の祭は、関大生協飲食事業部（電話06―6368―7531）まで直接お申し込みください。

◆**レストラン・紫紺**……100周年記念会館内のレストラン・紫紺では、喫茶・軽食を用意しています。

◆**レストラン・チルコロ**……新関西大学会館南棟4階には、イタリア料理をメインに喫茶から食事まで楽しめる本格レストランがあり、団体で使用できるバンケットルームも備えています。

◆**関大生協テント**……弁当や缶ビール、缶ジュースなどの飲物、関大関係書籍、各種オリジナルグッズを販売します。当日はまず校友会受付テントで資料等を受け取り下さい。

問い合わせ・申し込み

スプリングフェスティバルに関する問い合わせ・参加申し込みは、校友会事務局（電話06―6368―0041～46、FAX06―6380―8476）まで。

各団体とも初参加や家族連れ参加を歓迎

2月末日現在、スプリングフェスティバルに合わせ総会・懇親会等を開催の団体は次のとおり。

各団体とも本紙を見ての初参加や家族連れ参加を歓迎している。関係の方は集合時間・会場を確認の上多数ご参加下さい。会費など詳しいことは連絡先まで。

掲載は、団体催名・集合時間・集合場所・連絡先の順（連絡先の電話番号は校友会事務局06―6368―0044までお問い合わせ下さい）。

▼**橋本支部物産展**　10時・総合図書館前テント、連＝橋本市役所・浦彰伸

▼**尼崎支部家族懇親会**　11時・第2学舎ゼミ棟横特設テント、連＝佐藤泰秀

▼**川西支部拡大役員会**　11時・第二学舎ゼミ棟A36教室、連＝あさの文具・浅野洋一

▼**吹田支部婦人部・青年部ガレージセール**　10時・総合図書館前テント、連＝小西節子・渡辺善孝（同テント横にて吹田市行政相談開催）

▼**堺支部「関親会」**　11時半・第2学舎三号館D101教室、連＝依田充啓

▼**豊中支部懇親会**　11時・第2学舎ゼミ棟A26教室、連＝横畠正秀

▼**寝屋川支部懇親会**　11時・第2学舎3号館D102教室、連＝木下元重

▼**藤井寺支部**「桜の母校で語り合う会」　11時・第2学舎3号館D202教室、連＝技建設計・本間敏司

▼**八尾支部懇親会**　11時・第2学舎ゼミ棟A21教室、連＝青砥申生

▼**大阪中央支部家族懇親会**　12時・第2学舎ゼミ棟A23教室、（11時より総合図書館前ステージで「曲芸&マジックショー」開催）、連＝伊藤晃充

▼**平野支部観桜会**　11時・第2学舎ゼミ棟A32教室、連＝田中義信法律事務所・田中義信

▼**JR関大会総会**　11時・第1学舎1号館A503教室、連＝三宅順

▼**社会保険労務士関大会懇談会**　10時・第2学舎1号館A502教室、連＝永盛労務事務所・永盛啓司

▼**関士会（司法書士関大会・関大法曹会・公認会計士関大会・会計人会・不動産鑑定士関大会・社会保険労務士関大会）若手勉強会・懇談会**　10時半・第1学舎1号館実験学習・語学系教室(1)、連＝半野典子

▼**関大一八会総会**　11時・第2学舎1号館A301教室、連＝山本会計事務所・山本光雄

▼**予科撩爛会総会**　11時・第2学舎ゼミ棟A11教室、連＝東浦栄一

▼**第一新生会懇親会**　11時・第2学舎ゼミ棟A14教室、連＝篠原昭三

▼**学部二七年会家族懇親会**　11時・第2学舎ゼミ棟A13教室、連＝畑下

関西大学・教育後援会・千寿会・一高・一中・幼稚園ご下命店
学・校章型薯蕷（上用）謹製
厚生大臣賞受賞
日本食品衛生協会長賞受賞
和洋御菓子司
株式会社 昌月堂
〒556-0011　大阪市浪速区難波中3丁目13番28号
電話(06)6641-1666(代)　(06)6641-6565(代)
FAX(06)6647-6478・(06)7662-6550
取締役会長　山本俊雄（千寿会会員）
代表取締役　山本雅己（S53学1法卒）

制御盤配電盤製作・計装、電気工事
ISO 9001:2000取得 cert No;ci/1275
共栄電器工業株式会社
代表取締役 柳楽信義
本社　〒660-0815
尼崎市杭瀬北新町1丁目16番1号
電話 大阪(6481)8807番(代) FAX(6482)7172
東京営業所及工場　〒177-0033
東京都練馬区高野台2丁目6番16号
電話 東京(3904)1521番 FAX(3904)3430
ホームページ　http://www.kyouei-d.co.jp

公認会計士事務所・畑下辰典

▼**一高同窓会餅つき大会**　9時半・第二学舎ゼミ棟横特設テント、同役員会　9時半・第2学舎ゼミ棟A25教室、連＝長しづお

▼**機友会懇親会**　11時・第四学舎（工）1号館1階講師控室、連＝システム理工学部准教授・中原住雄（nakahara@ipcku.kansai-u.）

▼**千里山建築会懇親会**　14時半・第4学舎2号館6階建築学科代1会議室、連＝環境都市工学部准教授・伊藤淳志

▼**関西大学金曜会**　11時・第2学舎3号館D104教室、連＝今井康雄

▼**社会学部同窓会総会**　10時半・第2学舎1号館A304教室、連＝中村仁

▼**応援団OB千成会幹事会**　11時・第二学舎1号館A501教室、連＝田中正喜

▼**応援団OB長柄会懇親会**　11時・第1学舎1号館実験学習・語学系教室(2)、連＝中村司法書士事務所・中村博

▼**天六同友会懇親会**　11時・第2学舎ゼミ棟A31教室、連＝下垣法律事務所・下垣邦彦

▼**葦文会親睦会**　11時・第2学舎1号館A308教室、連＝三坂友章

▼**女子秀麗会幹事会**　12時・第2学舎ゼミ棟A22教室、連＝仁井ひろみ（10時より総合図書館前テントでバザー開催）

▼**秀麗寮士会春の集い**　11時・第2学舎1号館A305教室、連＝森茂実

▼**長砂ゼミ長友会総会**　10時半・100周年記念会館・サロン桃源、連＝鍋島均

▼**鉄川謝交会総会**　11時・第2学舎ゼミ棟A33教室、連＝浅田育孝

▼**49卒史学科同窓会**　12時・以文館内「法文坂」、連＝道前博

▼**国文六七同窓会**　10時・第1学舎1号館A504教室、連＝井上哲夫

▼**商学部廣田ゼミ五期会**　11時・第2学舎ゼミ棟A24教室、連＝三電社・渡部基義

▼**雄弁会同窓会**　11時・第1学舎1号館実験学習・語学系教室(3)、連＝宮先一勝

▼**放送研究会KBC70年OB会**　11時・第1学舎1号館A502教室、連＝宗重隆志

▼**拳法部OB会総会**　11時・100周年記念会館第4会議室、連＝増井勝也

▼**サッカー部OB会総会**　11時・第2学舎1号館A301教室、連＝佐藤弘一

▼**バスケットボール部OB会総会**　11時・第2学舎ゼミ棟A12教室、連＝財前英司

▼**ハンドボール部OB会総会**　11時・第2学舎ゼミ棟A41教室、連＝植中健登

▼**レスリング部OB会懇親会**　11時・第2学舎1号館A309教室、連＝横山博行

▼**体育会本部・関スポ・応援団若手同窓会**　11時・第1学舎1号館A601教室、連＝藤田由典

▼**千里山法律学会OB現役懇談会**　11時・第2学舎3号館D203教室、連＝部長、朝田

▼**書道部OB会総会**　12時・第2学舎1号館A503教室、連＝書道部副将・伏井千尋

▼**速記部OB会総会・現役交流会**　10時・第2学舎1号館A307教室、連＝森純也

▼**ユネスコ研究部OB会懇親会**　10時・第2学舎ゼミ棟A34教室、連＝藤本商事・藤本正知

▼**奇術研究部OB会**　11時・第2学舎二号館A302教室、連＝温井康之

▼**経済研究部OB会懇親会**　10時半・第2学舎ゼミ棟A35教室、連＝矢崎賢司

▼**交響楽団OB・OG会総会・親睦会**　11時・第2学舎1号館A303教室、連＝谷口眞人

▼**美術部白鷺会OB会**　11時・第1学舎1号館実験学習・語学系教室(4)、連＝道前博

▼**混声合唱団ひびきOB総会**　10時半・第1学舎1号館A603教室、連＝向井孝之（hibiki_ob@yahoo.co.jp）

▼**コールテクニカOB会催事**　10時・総合図書館前ステージにて合唱、連＝武内博資

▼**ユースホステルクラブOB・OG会**　10時半・第1学舎1号館A401教室、連＝市山二郎（jiro23may@theia.ocn.ne.jp）

▼**風土研究会OB会総会**　13時・第二学舎三号館D103教室、連＝阪上敏郎（t-sakaue@toyo-s.co.jp）

▼**観光事業研究部OB会**　11時・第1学舎1号館A501教室、連＝浜田和幸

▼**関西大学プレイボーイクラブ**　11時・第2学舎3号館D201教室、連＝東新産業・川島経正

「より強い関西大学」の構築を支援！
250人出席し校友会新年互礼会を開催



1月15日午後6時から平成21年校友会新年互礼会を、梅田の新阪急ホテルで開催した。大学関係者をはじめ、校友の首長、議員、地域支部、職域会の代表者など250人が出席し、母校と校友会の隆盛を祈念し、互いに懇親を深め合った。

鈴木那和応援団第87代団長の指揮で、学歌を斉唱したのち、加藤和宏・岩崎圭祐両総務部副部長の司会で開会。石川昌司副会長の開会の辞につづいて挨拶に立った一軸浩幸校友会長は、「母校はこの4月に新しく外国語学部を開設する。私が学生のときには4学部であったが、現在は11学部である。また、来年には高槻市と堺市に新キャンパスが誕生し、そこには防災や身体健康に関する学部が開設される。まさに隔世の感がある。母校はますます元気で頑張っており、私たち校友会としても卒業生の一人としてたいへん喜ばしく、心強いかぎりである」と躍進する母校に校友としての喜びを表した。

来賓紹介につづいての祝辞で、上原洋允理事長は、「いま、全国の4年制私立大学の約4割にあたる194大学が赤字になっている。世界的な不況に加え、少子化と大学間競争の激化によって、いかに私立大学の経営が困難かお解かりになると思う。

しかし、このようなときにこそ、就学に困っている学生に手を差し伸べる必要があると考えている。『家貧しくして孝子出

ず』という言葉があるように、学習意欲の旺盛な学生が数多くいるはずで、その施策について常任理事会で検討していく。

また、(1)教養と専門性を備えた知性豊かな学生の養成、(2)世界的レベルでの教育研究の実施、(3)国際化のいっそうの推進、(4)地域連携、社会貢献を率先して行う、の4点をさらに充実させ大学間競争に打ち勝つとともに、個性輝く21世紀型総合学園へ飛躍しつづけることができる」と決意を語った。

河田悌一学長は、「この正月に読んだ司馬遷の『史記』のなかに、『世の中には二つある。一つは一が分かれて二になる』という一文があった。たとえば工学部は3つに分かれた。文学部は外国語教育研究機構に分かれて、4月には外国語学部ができる。高槻のほうには、小・中・高と大学には社会安全学部をつくり、関西大学としては持てる知的財産を分散させながら発展している。しかしながら、司馬遷はそれだけでは良くないと言っている。一番大事なのは、『二を足して一を出す』。すなわち多くのものを統一して一つのものを創りあげるのが力になると言っている。教職員、校友の方がた、さらに学生諸君とそのご父母の5つの力をあわせて、社会に貢献できる立派な人材を輩出できる大学であるように努力したい」と述べた。

乾杯の発声は、森本靖一郎理事・相談役がつとめ、「強い関西大学、強い校友会」を祈念して声高らかに祝杯を挙げた。

和やかな懇談のあとは、応援団吹奏楽部の奏でるメロディーが会場に響き、関大人が輪になって心を一つにして逍遥歌を斉唱した。祖父江洋二郎教育後援会会長が万歳を三唱し、締めくくりは、寺内俊太郎副会長の閉会のことばで新春の宴を終えた。

第25回記念支部対抗親睦ゴルフ大会
5月19日(火)に小野グラウンドCCで開催

支部相互の交流と校友の親睦を図る催しの一つとして、第25回記念支部対抗親睦ゴルフ大会を、5月19日(火)に小野グランドカントリークラブ(36ホール)で開催します。新緑さわやかな好季節に、日ごろ鍛えた腕前を存分に発揮していただき、校友会長杯(団体戦)、理事長杯(個人戦)をめざして、楽しくプレーしてください。なお、お知り合いの方もお誘いのうえ、多くの校友の皆さまの参加をお待ちしています。

◆日　時　5月19日(火)

◆場　所　小野グランドカントリークラブ(兵庫県小野市中谷町、電話0794―67―1500)

◆競技方法　18ホールストロークプレー(ローカルルール適用)、ダブルペリア方式を採用(競技委員長・ゴルフ場支配人一任)

◆表　彰　**団体戦**＝上位10位まで入賞(各支部上位4人のネット合計により決定)。**個人戦**＝上位20位まで入賞。飛賞、特別賞等多数。

◆表彰式　競技終了後、クラブハウスのレストランで成績発表、表彰式、懇親会を行います。(36ホールを使っての競技ですので、プレー終了後の待ち時間は短縮されます。ぜひ表彰式までご出席ください)



◆参加費　**5000円**(ゴルフ場での支払いは各自負担。プレーフィは税込みで1万3500円＝1ドリンク付昼食代、キャディフィを含む)。全員に参加賞あり。

◆申込方法　1支部4人以上(4人に満たない場合は個人戦のみ)、**先着240人**＝定員になり次第締切。最終は4月20日(月)。

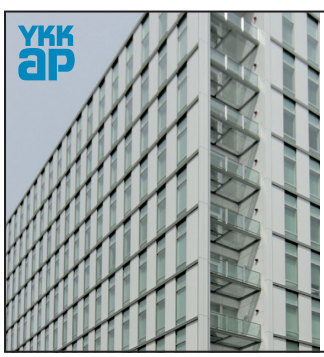
参加申し込みされた方には、5月10日頃までに実施要項、組み合わせ表等をお送りします。

※個人での参加も歓迎します。

問い合わせ等は、校友会事務局(06―6368―0041～44)まで。

TABUCHI
ゴクゴク飲めるしあわせよ。

世界有数の日本の水道環境。
タブチは、給水装置の
トータルコーディネーターとして、
安心で快適な暮らしを支えています。
株式会社 タブチ　URL http://www.tabuchi.co.jp/
本社・工場 〒547-0023 大阪市平野区瓜破南2丁目1番56号 TEL 06-6708-0150(代) FAX 06-6708-0210
札幌・仙台・北関東・東関東・さいたま・東京・静岡・名古屋・大阪・広島・福岡・南九州・沖縄・住設事業課・給水設備課・首都圏給水設備課

YKK ap

FACADE DESIGN & ENGINEERING
YKK AP株式会社
ビル建材第一事業部　大阪統括営業部
〒540-8534　大阪市中央区谷町4-8-7
TEL:06-6947-4141
http://www.ykkap.co.jp/facade/

3月12日に校友・父母会館が竣工
大学・校友・父母が相協力の拠点に



千里山キャンパス・関西大学会館の南側に隣接して建設が進められていた「校友・父母会館」が、このほど完成。3月12日に大学関係者、校友会役員、教育後援会役員など約250人が出席して盛大に竣工式が行われた。

この建物は、平成19年末に教育後援会の入る教育会館が老朽化のため、法人に建て替えの要望が出されたのを機に、校友会も大学、教育後援会と一層密に連携するとともに、大学のさらなる発展に寄与できるよう建設を要望していたもの。

鉄筋コンクリート造、地上3階・地下1階建てで、建築面積は871・52㎡、延床面積は3011・58㎡。主に3階とグランドフロアを大学、2階を校友会、1階を教育後援会が利用する。3階の会議室は、理事会等の会議を効率的・効果的に運用するため各種のIT設備を活用した会議設備が整備されており、大学をはじめ、校友会、教育後援会の会議・会合にも供される予定。

2階と1階には、校友会および教育後援会の事務室、役員室、会議室、資料室等が配置されており、大学、校友、学生の父母・保護者が一丸となり、今後の関西大学の充実発展に寄与するための象徴的空間として位置づけられている。

なお、校友会、教育後援会とも3月16日から新しい建物で業務を行う。

7階建の第2学舎2号館も竣工
経済・商・会計専門職大学院の教育・研究環境が充実

主に経済・商両学部と会計専門職大学院の教育・研究環境の整備・充実と安全性の向上のため建て替え工事が進められていた第2学舎2号館が完成、3月16日に関係者が出席して竣工式が行われる。

2009年度一般入試終わる
9万0066人が各地で受験



2月1日から2009年度一般入学試験がはじまった。この日、関西大学では5学部の入学試験があり、千里山キャンパスをはじめ、全国14会場でおよそ5500人が受験した。関西大学では8日まで学部個別試験、全学部日程、センター利用中期試験が、3月3日と4日に後期日程とセンター利用後期試験が実施され、9万0066人が受験した。

志願者数は、昨年度より365人の減少となったが、深刻な経済不況が受験生の志望校選択にも影を落とし、出願する学部の数を絞り込む傾向が見られた。確実に合格できて家から近いところを選んで、家計に負担をかけまいとして地元志向も強まるなど、厳しさが浮き彫りになっている。

ことし4月に開設される外国語学部は、受験生のかなり高い関心を集め、志願者は3592人だった。ほかの各学部の志願者数は次のとおり。%は昨年度比。

▽法学部7623（87・8%）▽文学部1万3820（89・3%）▽経済学部1万1694（110・7%）▽商学部1万1228（90・3%）▽社会学部1万3504（98・8%）▽政策創造学部4184（78・5%）▽総合情報学部6392（86・2%）▽システム理工学部8656（98・5%）環境都市工学部4215（72・4%）化学生命工学部5158（93・4%）。

なお、昨年中に行われたAO入試やSF入試など多彩な入試を加えた志願者総数は9万3816人となった。

学生横綱 平野孝行氏の横綱と太刀を受贈

2月26日、第40代学生横綱として名を馳せた、故平野孝行氏（昭38学文東）のご令室、平野芙美子さんから、関西大学に練り絹の横綱と太刀一振りが寄贈された。

昭和33年に入学した平野氏は、高校横綱の実力を存分に発揮、新人戦、西日本学生相撲大会であっさりと優勝を飾った。37年12月1日に行われた第40回全国学生相撲選手権大会では、得意

お母さまへ
主婦がコツコツと手造りで
ご良家のご縁結びをしています。
高槻の隣り町
島本町
TEL.075-961-7405
吉川　味与子
（関西大学卒業生の妻）

の四つ相撲から押し相撲へと1年がかりで型を変えた努力が実り、本学3人目となる学生横綱の地位についた。大会後、氏が母校関西大学での土俵入りに使った横綱と太刀は、年史編纂室に保存される。



守口市教育委員会と連携協力の協定書締結

関西大学では、1月21日に守口市教育委員会と、相互の人的・知的資源の交流・活用を推進するため、連携協力に関する協定を締結した。

主な内容は、(1)大学による小中学生等を対象とした新たな学びの機会の提供、(2)学生・院生に小中学校等の教育現場を体験する機会の提供、(3)学生・院生による小中学校等の教育活動および地域の各種活動への支援の推進、(4)大学と小中学校等の教職員相互の交流・研修の促進などで、今後、学校インターンシップ等の連携事業を実施する予定。

第1学舎1号館が特別賞受賞 大阪サステナブル建築賞で

千里山キャンパスの第1学舎1号館が、第2回大阪サステナブル建築賞の特別賞に選ばれ、2月16日に大阪府庁で表彰式が行われた。

同賞は、地球温暖化やヒートアイランド現象防止等、環境への配慮に優れた建築物を表彰する顕彰制度の一環として大阪府が創設したもの。

市民ウィンタースポーツデイ 高槻市民450人が楽しむ

高槻キャンパス・関西大学アイスアリーナで、2月14日に「高槻市民ウインタースポーツデイ」が開催され、訪れた約450人の市民がスケート部員らの華麗な演技に盛んな拍手をおくった。

今年で3回目となるこの催しは、高槻市との共催で、市民を対象に関西大学のアイススケートやアイスホッケー部員によるエキシビションを通じてウインタースポーツに親しんでもらうことを目的に行われており、大学も大学の資源と活力を生かし、「地域社会のなかの大学」を着実に進めている。

当日は、日本スケート連盟強化選手で青森冬季国体フィギュアスケート成年女子の部で準優勝の澤田亜紀さん（文2）、少年女子の部で1、2位の村元小月・哉中さん姉妹の演技、関西リーグを制したアイスホッケー部や「カイザージュニアアイスホッケークラブ」のゲームも披露された。



織田信成選手の世界選手権出場壮行会を開催

2月25日に千里山キャンパス・第2学舎のBIGホール100で、フィギュアスケート世界選手権2009に日本代表として出場する、アイススケート部の織田信成選手（文4）の壮行会が開催された。競技は3月23日から29日まで、ロサンゼルスを舞台に行われる。1年後のバンクーバーオリンピックを見据え、世界の一流選手とわたりあうなかでメダル獲得の期待が寄せられる。



織田選手は、駆けつけた大学関係者や学生、ファンら約500人を前に、「『千日の稽古を鍛とし、万日の稽古を錬とす』という河田学長の言葉を胸に、関大体育会や応援してくれる仲間のために全力を尽くしてきます」と力強く決意を述べた。

織田が全日本初制覇

アイススケート部の織田信成選手（文4）が、12月25日～27日に長野市若里多目的スポーツアリーナで開催された第77回全日本フィギュアスケート選手権大会・男子シングルで初優勝を


ビルメンテナンス業界初のISO-9001, ISO-14001, OHSAS-18001 三規格認証取得企業として、「作業品質＆マナー」・「環境」・「安全」の向上を通じ、オーナー様・ユーザー様からの信頼に応えます。

株式会社 大阪ビルサービス

〒540-0012 大阪市中央区谷町二丁目4-5 Tel 06(6941)3306 E-Mail info@obsf.co.jp

OBS facilities since1973

ISO-9001 ISO-14001 OHSAS-18001

Clean Cordial Creative Convenience

飾った。この結果、出場が決まった2009年四大陸選手権大会（2月2日～8日、カナダ・バンクーバー）では4位に入賞した。世界選手権への出場も決定した。

また、同大会では織田とともに男子シングルに出場した町田樹選手（文1）が7位に入賞。アイスダンスに出場した平井絵己選手（経4）が3位入賞を果たした。

町田はインカレで初優勝 団体では男女アベック優勝

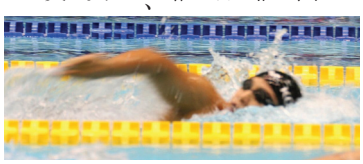
アイススケート部の町田樹選手（文1）は、1月に青森県三沢アイスアリーナで行われた第81回日本学生氷上競技選手権大会のフィギュアスケート男子シングルで初優勝を飾った。

なお、同選手権大会のフィギュアスケート競技部門で関大アイススケート部は、男子団体、女子団体でアベック優勝した。



矢野が4百m自由形優勝 日本短水路選手権水泳で

2月21日～22日に東京辰巳国際水泳場で開催された第50回日本短水路選手権水泳競技大会で、水上競技部の矢野友理江選手（文2）が、女子400メートル自由形で優勝。



全日本学生室内テニス 角田・野口組が準優勝

12月2日～6日に長岡京市西山公園体育館で行われた第45回全日本学生室内テニス選手権大会の男子ダブルスで、テニス部の角田圭祐（商3）・野口正勝（経1）組が、準決勝で第1シードの佐野・宮崎組（早大）を逆転で破り決勝に進出。決勝では招待外国人選手組に敗れたが、準優勝を飾った。



（スポーツ関係の写真は一部を除き「関大スポーツ」提供）

阪神タイガースの岩田稔投手 凱旋トークイベントを開催

12月12日に千里山キャンパス・第2学舎のBIGホール100で、阪神タイガースの岩田稔投手（平18学経）凱旋トークイベントが開催され、多くの学生や聴講者がつめかけた。

岩田投手の活躍をビデオで紹介したあと、宇佐見英治氏（昭53学社、元日刊スポーツ記者）、高岡淳氏（昭63学法、前野球部監督）の3者でトークイベントが行われ、シーズン中の成績や学生時代の活躍の話に、来場者は熱心に聞き入っていた。



終了後にはサインボールの当たる抽選会があり、最後に「関大岩田会」の結成宣言が発表され、大いに盛り上がった。

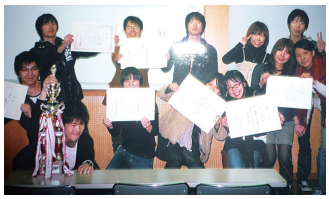
全日本学生速記競技大会で 速記部が42連覇を達成！

12月7日、国立オリンピック記念青少年総合センターで行われた全日本学生速記競技大会において、私たち関西大学文化会速記部が優勝し、42連覇を果たすことができました。

今大会は私も選手として出場し、自分の成績も優勝を左右するのだと思うと、責任感とともに、強いプレッシャーを感じてしまいました。しかし、周りの支えもあり、当日はリラックスした状態で大会に臨むことができました。部員にいたっては、大会前日まで空いている時間をすべて練習に費やすなど、とにかく大変だったと思いますが、その努力の結果が優勝へ繋がりました。

しかしながら、大会が行われる度に他大学も年々着実に力をつけてきており、対策・反省すべき点も多々あります。そのため、部員一同これからも気を引き締めて、能力を高め、日々精進していきたいと思います。私が主将として大会に出ることはもうありませんが、悔いのないよう残り少ない行事に全力で取り組み、次の代にバトンを渡したいと考えております。

（主将　山上翔太）



血糖299が2カ月で94に！ヘモグロビンA1Cも11.5が6.9に！
糖尿病に燕子掌
ヘモグロビンA1C値の改善にお役立て下さい。
『お薬、食事、運動など今まで何を試しても下がらなかったA1C値…。今回、やっと下げるモノが見つかりました！』と、多くの方にお喜び戴いている特許新成分です。
▼この漢方・燕子掌の詳しい資料・改善データを無料でお送りいたします。
☎0120(090)358
http://10240-110.com/（糖尿一一〇番）
資料無料送付
燕子掌

180粒 18,900円（税込）
特許番号 第2535674号
ヘルスケア研究所

良縁お世話致します
婚活（結婚活動）は、早ければ早いほど有利です！
関大生割引あり 一度お電話ください。
ブライダル ナカノ
TEL 06-6702-8624
携帯 090-5049-6064
●関西大学卒業生（商87）中野友美子


MCSA 経済産業大臣認定個人情報保護団体
結婚相談業サポート協会会員

ボランティアセンター学生スタッフが助成団体に採択

（財）学生サポートセンターが、自由な発想と行動力によって社会貢献を計画・実行している学生の団体を対象に募集した「20年度（第6回）学生ボランティア団体支援事業」に、関西大学ボランティアセンター学生スタッフが採択され、助成金の交付を受けた。



関大では、昨年の文化会ユネスコ研究部につづいて4件目となる。

落語大学・清水啓記が第6回策伝大賞を受賞

2月21日～22日に岐阜市の長良川国際会議場で開催された第6回全日本学生落語選手権・策伝大賞で、落語大学の浪漫亭刃矢手＝清水啓記（法3）が最優秀の策伝大賞を受賞した。

この大会は、落語の祖といわれる安楽庵策伝の出身地である岐阜市で、笑いと感動のまちづくりの一環として平成16年から開催されており、今回は37大学163人が参加した。

なお、この大会では第2回に爪田家風凛＝村田卓優（平18学経）、第4回に浪漫亭不良雲＝島井謙太郎（経4）がそれぞれ策伝大賞を受賞している。

一高・一中が3年連続で数検グランプリ金賞受賞

関西大学第一高等学校・第一中学校が、数検グランプリ金賞（中高一貫校部門）を3年連続で受賞した。

勉強面において生徒たちの動機付けにと2001年度の団体受験からスタート、全国1万2900を超える団体の中から、中高一貫校部門としてグランプリ金賞に100校が選ばれるもので、今回5回目の受賞となった。

ラモス氏が北陽高校サッカー部を指導

元日本代表のラモス瑠偉氏が、12月17日に関大北陽高校サッカー部を一日指導した。

ラモス氏の兄・ジュニオール氏が20年4月からサッカー部のヘッドコーチを務めていたが、体調不良のため辞任することになり、ラモス氏から「志半ばでコーチを辞任する兄にかわり、少しでもサッカー部の役に立ちたい」との申し出があり実現したもの。

当日は、ジュニオール氏に感謝状を贈呈、その後ラモス氏の指導が行われた。



一中ラグビー部がエンジョイラグビー実施

第一中学校ラグビー部が、2月8日に地域の小学生を招待して一中グラウンドで、エンジョイラグビー（体験ラグビー）を開催した。寒空のなか、一緒になって人工芝のグラウンドを走りまわり、楽しいスポーツの交流の場となった。



建築関連資格の専門指導校

20歳代 1級建築士登録者 占有率 No.1

20歳代の1級建築士登録者に当学院OBが占める割合

20歳代1級建築士登録者占有率約 63.7%

「初受験一発合格」「学科+製図ストレート合格」を掲げる当学院の実績が、国交省発表の数字でも証明されました。

※平成18年、国土交通省「建築物の安全性確保のための建築行政のあり方について」報告書のデータを基に算出。

独学＋他講習会利用 約1,100名

当学院OB 1,911名

約63.7%

平成19年度も多くの関西大学OBが当学院から建築士になっています!!

平成 19 年度
1級建築士 関西大学卒業合格者

合格者 57 名中
当学院合格者 31 名
当学院占有率 54.4%

独学＋他講習会利用

当学院占有率 54.4%



建築士・宅建

1級建築施工管理技士

厚生労働大臣指定教育訓練給付制度対象講座あり

無料 受験生・法人向け 各種ガイダンス開催中!!

当学院では皆さんの資格取得をバックアップする無料ガイダンスを随時開催しております。
資格取得を目指す方、資格取得で就職活動を有利に進めたい方、社内の有資格者育成をお考えの方、まずはお気軽にお問合せください。
建築関連資格指導校として蓄積したノウハウで皆さんの資格取得を強力にサポートします!

資料請求や講座に関するお問い合せは下記まで。

梅田校 ／ TEL.06-6374-1411
大阪市北区中崎西2-4-43 アルテビル梅田

新大阪校 ／ TEL.06-6101-1911
大阪市淀川区西中島4-2-21 新御堂筋ビル6F

京橋校 ／ TEL.06-6882-8211
大阪市都島区東野田町4-6-23 ニッセイ京橋ビル1F

なんば校 ／ TEL.06-6648-5511
大阪市中央区難波4-7-14 難波阪神ビル 3F

堺校 ／ TEL.072-222-9311
堺市堺区中瓦町1丁-4-21 第一住建堺東ビル 2F

尼崎校 ／ TEL.06-6430-6811
尼崎市御園町21 MG尼崎駅前ビル 4F

神戸校 ／ TEL.078-241-1711
神戸市中央区雲井通4-2-2 マークラー神戸ビル 3F

姫路校 ／ TEL.079-224-1411
姫路市南駅前町124 ニュースビル 5F

京都校 ／ TEL.075-352-3011
京都市下京区烏丸通仏光寺下ル 大政所町680-1第八長谷ビル8F

草津校 ／ TEL.077-566-6911
草津市大路1-15-5 ネオフィス草津 1F

奈良校 ／ TEL.0742-30-1511
奈良市西大寺栄町3-27 泉谷ビル 4F

今すぐウェブ検索 総合資格 検索
http://www.shikaku.co.jp

ケータイサイトも充実 http://gakuin.jp
※QRコードはバーコードリーダー対応機種に限ります。

(社)日本建築学会会員
(社)全国産業人能力開発団体連合会会員
監理技術者講習実施機関 登録番号7
宅建登録講習機関 登録番号(2)第009号
宅建登録実務講習実施機関 登録番号(1)第5号

全国開講教室 約1200教室 優秀な講師陣 約1300名

総合資格学院

北から南から

新春総会に白石真澄教授など
神田校友の「中国体験記」に感銘

千葉支部（杉原賦彦支部長）の21年新春総会が、2月7日に市川市のサンシティに40人が参集して開催された。

第1部総会は、学歌斉唱に続き、杉原支部長より時節柄明るい総会としたい旨の挨拶があり、活動報告が行われた。

校友会の片山副会長、大学の石山東京センター長、白石真澄教授の来賓が紹介され、来賓より、上原洋允学校法人理事長の就任、母校の力強い発展、在校生の活躍などの報告、などの挨拶があった。

20年度の会計報告承認のあと役員改選に移り、杉原現支部長および全副支部長が再選された。杉原支部長より広報と組織を強化し支部活動の一層の活性化を図って行きたい旨の決意表明があった。

活動報告は、ゴルフ同好会（前川幹事）から「少打爽快、多打健康」をモットーに、ゴルフ大会を春秋の2回開催を予定。写真同好会（江口幹事）は撮影旅行のミニ写真展が会場を盛り上げた。今年も温泉つき撮影旅行を計画中。

第2部懇親会は、川越校友（昭28法）の乾杯、女性校友を含む初参加者紹介に始まり、屋上石庭の見える会場でフランス料理を味わいながらの進行となった。

新機軸であるミニ講演では神田万久校友（昭45工）の「中国体験記」と題する大連交通大学での1年間の日本語講師の体験談を拝聴した。中国の大学での経験を散りばめながらの話は最新の中国事情を知る貴重な話として大喝采を浴びるとともに、その生き方は大きな感銘を与えた。

お楽しみのビンゴゲームでは、イタリア製の調理器具や各国のワインなどの賞品に会場は騒然となった。続いてカラオケタイムへ移行、最後は松岡応援団OBの乱舞のもと逍遙歌を高吟し、お開きとなった。

これで終われないのが千葉支部の新春総会。足は自然と同じ駅前の家庭料理店「舞堵」（坂本校友経営）へ。今回は参加者が増加、店に入れない校友には諦めていただく事態となった。

（広報担当　池田光夫）

（アイズ・オブ・マインド　青山誠＝03―3662―7710）

寺内新校友会長が初登場
白石真澄教授が講演

東京支部（南部靖之支部長）の21年度新春総会が、2月14日に関西大学東京センターで開催され、1月の臨時代議員会で選任された寺内俊太郎新会長らを来賓として迎え会員55人が出席した。

第1部総会は、学歌斉唱、南部支部長の挨拶に続き、来賓の祝辞をいただいた。寺内新会長からは「校友の輪をもっともっと広げたく、校友名簿の充実を図りたい」との話しがあったまた石山東京センター長からは「いま、受験高校生の行きたい有名大学の第1は、東が早稲田大学、西はわが関西大学が断トツである」とのうれしい報告があった。その後、忙しい中をお祝いに駆け付けて頂いた、テレビでもお馴染みの白石真澄教授から「夢に活きる」をテーマに講演があった。

第2部の懇親パーティは、しばし美味しい料理に舌鼓を打つ中で、若手校友達は、積極的に諸先輩に名刺交換、自己PRをしながら売り込んでいた。次に初参加の校友15人が前列に並び一人ずつ自己紹介したが、外国人留学校友2人は流暢な日本語で自己紹介をし、ヤンヤの拍手があった。



恒例のパフォーマンスショーでは、パソナミュージック所属の本間健太郎君が、世界各国の国家を暗唱で歌うという特技を披露、北朝鮮から始まり、ドイツ、イギリス、インド等、初めて聞く他国の国家を聞かせていただいた。続いて、現在ライブハウス中心に歌手活動をしているという橋本昌彦君の美声を聞き会場は、拍手喝采。

応援団OB千成会の久沢氏の演舞のもと逍遙歌を元気一杯に合唱、終了した。

（幹事長　大川淳三）

（大川淳三＝042―7345005）

開港150年の横浜を散策
昼食会場で交流の輪広げる
桜葉が　朱に染まりたる　汽車道路

神奈川支部（重延義樹支部長）では、開港150周年を来年に控えた横浜の歴史を垣間見ようと、第11回散策の会「横浜歴史散策」を11月29日に総勢30人が参加して開催した。

秋晴れのもと、早速JR桜木町を出発。その昔に洋行の旅客や貿易物産を載せて港まで走った「汽車道」を赤レンガ倉庫まで歩き、旧税関事務所跡や旧横浜港駅跡を寸見。そして、ベイエリアの「海上保安資料館横浜館」を見学した。

ここには7年前に九州南西海域の交戦で沈没した北朝鮮の工作船が展示されており、一行はその悲惨な姿を見て、国際関係の難しさを再認識した。その後、「日本郵船歴史資料館」を訪ねて、わが国海運の歴史を観賞したあと、昼食会場で交流の



輪を広げ楽しい一日を過ごした。

詳細は、神奈川支部ＨＰにてご覧ください。

（文＝高橋一弘、世話役＝藤原ひで子・新開雅子）

http://kanagawashibu.ld.infoseek.co.jp/

（ダイケイ気付＝０５０―１０６３―９６６０）

「おふくろさん」を3カ国語で
支部長は「ゴルフわからない節」

愛知支部（森田敏二三支部長）忘年会が12月18日、ロイヤルパークイン名古屋で参加者16人を集めて開催された。

12月に急逝された重野貴之君（平14学工　半田市）への黙祷、森田支部長の挨拶の後、会沢副支部長（昭29法）の力強い乾杯の音頭で宴に入り、終始にぎやかな歓談になった。



アトラクションでは、カラオケで盛り上がり、杉本会計委員（昭48院商）が森進一の「おふくろさん」を日本語・韓国語・台湾語で歌われ、また森田支部長の「ゴルフわからない節」で大いに盛り上がった。

（幹事長　原　勝也）

（知多工業・森田敏二三＝０５６２―３３―５８２２）

１０３才の舁地会員が講演
「長生きすればいいことがある」

福岡千里会（白木成光会長）では、1月16日、福岡天神平和楼大宴会場で新年会を開催した。



白木会長の開会挨拶の後、花田名誉会長への福岡のみならず九州地区における永年の功労に対し、感謝状の授与式を行った。

続いて、舁地三郎ＯＢ（昭12大法・１０３歳、しいのみ学園園長）から『長生きすればいいことがある』の講演をいただいた。その経験された人生の足跡と取り組みについてお話しいただき、その世界的な活躍ぶりに大きな感服と深い感動を覚えた。

原忠男氏（昭29経）の乾杯の音頭で開宴。アビスパ福岡の栄井健太郎氏（平10社）から選手のサイン入りユニホームのプレゼントがあった。また、福岡千里会の有志の方々からの資金提供で、福岡千里会として年間シートを購入することとなった。

最後は若手を中心とした面々で、エールと万歳三唱でお開きとなった。その後は有志で二次会へと移り、新体制の２年目を迎える次回の7月の総会は、過去最高の出席者を目指そうと誓いあった。（副幹事長・岡部　薫）

（安藤造園土木・白木成光＝０９２―８４１―４１４１）

今年一番の出来事など発表
安らぎとなるいい機会

12月4日、福岡天神ホテルラホール宴会場で、**福岡若手千里会**主催の忘年会を開催し、総勢30余人の参加者があった。

各メンバーから今年の一番の出来事、来年の抱負等の発表を行ったり、差し入れや景品のジャンケンゲーム等を実施した。ＯＢ同士の懇親を深め合う、安らぎにさえなるいい機会を持つことができた。

（岡部薫＝昭61工金）

平成卒が参加者の3割超
年代を超えて情報交換

愛媛支部（小泉勇治郎支部長）の総会・新年会が、1月31日、松山市内のいよてつ会館に校友会本部・四国三支部の支部長を来賓に迎え、総勢58人の校友が集い開催された。

総会は、テレビ愛媛の高山景子校友（平11経）のプロの味溢れる流暢な司会により進行し、小泉支部長の挨拶の後、寺内校友会長より祝辞をいただくとともに大学の現状を興味深く拝聴した。前年の活動報告があり、初参加5人の自己紹介で一部を終えた。

東郷校友会事務局長の乾杯の発声で和やかに新年宴会が始まった。懇親会では情報交換の輪が広がり、昭和31年から平成20年卒まで年代を超え、ひと時千里が丘に思いを馳せた。恒例のビンゴゲームで大いに盛り上がり、藤岡緑校友の熱き名調子とエールで「逍遙歌」を合唱し、盛況の内に散会した。



年を追うごとに平成卒の校友の参加も増え、本年は3割を超える参加者があり、フレッシュ感溢れる総会となった。

（幹事長　稲荷和重）

（稲荷和重＝０８９―９５６―１８６９）

初参加の8人が自己紹介
独楽芸、ハーモニカ演奏楽しむ

岡山支部（行本章允支部長）の第52回新年会が、1月12日に岡山全日空ホテルで開かれた。昭和26年から平成18年までに卒業した校友66人が参加。学歌を斉唱した後、行本支部長が挨拶して開会。



お互い酒を酌み交わしながら、学生時代の思い出話や近況を語り合い、初参加8人の自己紹介など和気藹々と楽しいひとときを過ごした。

またアトラクションとして倉敷市の独楽（こま）芸師で日本ハーモニカ芸術協会会員、サブ中田さんによるちょん掛け独楽の綱渡りや赤とんぼ、かえり船などの童謡、演歌のハーモニカ演奏があり、正月らしい雰囲気を存分に楽しんだ。

この日は、新年会に先立って岡山金陵ＣＣで24人が参加して「第46回親睦ゴルフ大会」、両備ボウルでは8人が出場して「第11回親睦ボウリング大会」も開催され、スポーツを通しても友

好を深め合った。（村木弘文）
（田渕自動車鈑金塗装所内＝086―222―7076）

新しい校友会のあり方提言 市立美術博物館への支援など

「地域文化を応援する」。2月7日、芦屋市内のホテルで開かれた**芦屋支部**（上野義治支部長）総会は、単なる親睦の集いとしてだけではなく、新しい校友会のあり方を提言する場となった。初めて出席した上原洋充理事長も「社会、地域に貢献するのは大学の使命。芦屋支部の取り組みを心強く思う」と評価した。

芦屋支部が取り組む社会貢献とは、厳しい運営が続く芦屋市立美術博物館への支援。総会で上野支部長は、昨年5月からNPO法人「芦屋ミュージアム・マネジメント」の運営に、支部として積極参画している事情を説明し、「より良い町づくりのために尽くすのが校友会支部の役割」と強調、現役生も含めて参加した約100人の校友に理解と協力を求めた。

今年はこうした目的もふまえ、「文化講演の部」を新設。同館の明尾圭造学芸課長が、開催中だった「近世大坂文人画の世界」展について語り、芦屋支部との連携で母校所蔵のコレクションを中心にした貴重な展示が実現できたことを紹介、物心両面の支援を訴えた。

お堅い話の後は落語も。校友で落語家の林家染太さんによる高座「ときうどん」で盛り上がりをみせ、懇親会では豪華賞品があたるビンゴゲームで一喜一憂、応援団の演舞で絆を深めた。

今年は、大型プロジェクターで最新の母校の姿を映し出したり、ウエルカムドリンクを用意したりするなど新たな演出もあり、企画した山本淑子副支部長らは大満足。その中でも「地域貢献」は、進取の気性にあふれた関大マインドを刺激するキーワードとして、芦屋支部校友の新たな行動目標になりそうだ。（河合洋成）
（山口会計事務所気付＝0797―31―8005）



ゴルフほか部会が行事計画 親睦を深めた20年納会

12月20日、川西市内の料亭・胡兆（野口修氏経営＝昭34法）にて来賓を含め総勢31人の出席のもと、**川西支部**（水口博喜支部長）納会が行われた。しばし歓談の後、初参加者の紹介があり、安坂宏之氏（昭39商）が自己紹介を行った。

続いて来賓の木挽司衆議院議員より祝辞をいただき、氏は関大卒業生の誇りを胸に頑張ると熱弁を振るわれた。また、支部設立の当初から何かと力を尽してこられた多田孝氏（昭36経）からは、溢れんばかりの母校や校友を想う言葉が発せられ、参加者からの大きな拍手がおこった。



宴もたけなわの頃、3同好会の代表から行事実績の経過報告と来年の行事計画が発表された。

顧問の菅原巌氏（昭34史）が閉会の挨拶。恒例の逍遙歌をわれらが応援団、相澤佑勲氏（昭40法）の指揮のもと、皆で肩を組み歌い上げた。

宴会後は、希望者で二次会に繰り出し、大いに友情を確かめい、寒空に意気盛んな関大ボーイであった。（昭45英　臼井　宏）
（あさの文具・浅野洋一＝072―759―3785）

盛大に55周年行事をの声 新年初会で21年の幕開け

川西支部では1月24日、川西能勢口の「すし半さと」で拡大役員会を兼ね、恒例となった21年新年初会を開催した。臨時代議員会に出席した水口支部長を始めとする川西支部役員26人（来賓1人）が集まった。

水口支部長より、川西支部創立以来の沿革についての話を交えた開会挨拶、続いて浅野次期支部長から4月の母校におけるスプリング・フェスティバル時に新執行部による拡大役員会開催で本年度方針、事業計画等について提案・検討いただきたいとの挨拶があった。

歓談も和やかに進む中、昨秋の支部総会で浄財の寄贈をうけた川西市社会福祉協議会会長の菅原巌顧問よりお礼と福祉活動状況の説明、今後のより一層の協力方依頼があった。あちこちで色々な話題が出るなか、来年の支部創立55年を祝う盛大な周年行事を行おうとの声があがり、一同賛意を表し、藤井収顧問の閉会挨拶で新年初会を終了した。（副支部長　山内眞一郎）

多くの神戸校友と出会おう 交流いっぱいの新年互例会

1月22日、**神戸支部**（西村太一支部長）の平成21年新年互礼会を神戸東急インで開催。昭和25年卒から平成20年卒までの100人近い校友が集い、神戸支部の新年スタートを飾った。

渡邊泰之副支部長（昭42法）は開会の辞で神戸支部の新しい運営試みとご理解をお願いした。

新春挨拶に立った西村支部長（昭31法、神戸トヨペット会長）は「不況の中にこそ絶好のチャンスあり、今だからこそできることもある」、「神戸支部の運営に関大神戸平成倶楽部の若いメンバーにより活力が溢れてきた」、「今年は国、兵庫県、神戸市にとって選挙のある重要な年」と挨拶を述べた。続いて、矢田立郎顧問（昭46法、神戸市長）が祝杯の発声、会場には歓談があふれた。



今回の企画は「多くの神戸校友と出会おう」をテーマに各テーブルでリーダーを決めて、テーブル内の自己紹介の後、会場全体が交歓の渦となった。

（幹事　堤　礼邦＝平6法）
（東光商会気付＝078―453―2211）
メールkuaa-kobe-owner@yahoogroups.jpURL http://groups.yahoo.co.jp/group/kuaa-kobe

先輩後輩もないファミリー会
母校を通じて築かれた絆

12月6日、**京都支部**（牧村史朗支部長）洛西ブロック懇親会に初参加した。会場は、嵐山の老舗料亭・渡月亭。初参加で少々緊張気味な私だったが、広間に入ると、実にアットホームな雰囲気が漂い、35人の参加者の方々に、柔和な笑顔で迎え入れていただいた。

懇親会に先立ち、小寺一矢先輩（元大阪弁護士会会長）が関西大学の未来や来年に迫る裁判員制度を真摯な語り口でお話になり、酒田清光先輩による乾杯の発声の後、美味なお料理とともに、あちこちで話に花が咲いていた。私にとっては初対面の先輩方ばかりだったが、学生時代の話や近況、ときには人生訓など気軽に楽しく交流させていただいた。その中で、特に印象に残った言葉が、ある先輩の「この会は、先輩も後輩もなく横一線。『ファミリー』だと思っているよ」の一言。その言葉どおり、皆さん、家族や職場の関係とは一味違う大らかな絆を、関西大学を愛する気持ちを通して築いていらっしゃると感じた。

（中川佳子＝58文史）
（いぐち・井口俊博＝075―351―2112）

刑事課長、副市長が講演
高槻新キャンパスに期待

関大高槻新キャンパスの完成を目前に、**高槻島本支部**（清水利男支部長）の市民公開講座および新年懇親会は120人を越す参加者でにぎわった。

2月6日午後6時半、高槻現代劇場。学歌斉唱で開会し、清水支部長は挨拶で「高槻新キャンパスが、地域の発展に役立つことを疑わない」との期待を述べた。

高槻署の岩切刑事課長の「刑事のひとりごと」というテーマでの講演に続き、高槻市の石井副市長は、「活気ある高槻をめざして、関大高槻新キャンパスを大いに利用したい」と講演した。

食事の出た懇親会は、音楽ショーやくじ引きで盛り上がり、新参加者の紹介では「こんな楽しい会にもっと早く来れば良かった」との声も聞かれた。



最後は満屋副幹事長を中心に、エール交換で、全員の活躍を称え合った。そして会場いっぱいに輪になり、肩組み合って逍遙歌を元気に歌って終了した。

（長谷川　隆）
（コヤマカンパニー・小山洋三＝072―682―2525）

但馬牛のすき焼きに舌鼓
茨木市長など来賓も多数

茨木支部（北川均支部長）の新春懇親会が、1月29日に市内元町の割烹「片桐」で開かれ、支部顧問の野村宣一茨木市長はじめ、3人の市会議員、母校の池田敏雄名誉教授や笈田欣治教授ら含め、総勢53人の校友の参加で大いに盛り上がった。



懇親会は、北川支部長の新年挨拶、野村市長祝辞の後、1月25日執行の茨木市議会議員選挙において見事再選された3人へ市議選当選祝いの花束を贈呈した。

近江巳記夫氏の発声で、母校の発展と茨木支部の飛躍を誓って乾杯。「片桐名物」の最高級但馬牛のすき焼きに舌鼓を打ち、先輩・後輩の垣根を越えて大いに賑やかな歓談となった。

途中には、最高級但馬牛やその他豪華な景品が当たる抽選会で、新年から縁起良くゲットする幸運な人もあり、あっという間にお開きの時間となった。辻口信良氏の見事な口上演舞のもと逍遙歌を合唱し閉会となった。

（幹事長　小西盛人）
（北川　均＝072―623―3733）

カラオケ大会で実感
カイザー関大ここにあり

河内長野支部（上奥雅勇支部長）の忘年会は、支部行事の中でも人気のある行事の一つで、この日を待ち望む校友が多い。

一軸浩幸校友会長などを迎え、12月6日、忘年会の常場所「おばな旅館富貴亭」で総勢39人が出席し開催された。

学歌斉唱、上奥支部長、一軸校友会長の挨拶に引き続き、安部誠治副学長、柴健次大学院会計研究科教授・研究科長から母校が力強い発展を続けているとの近況報告があった。



西野修平府会議員の挨拶の後、山本武一郎校友の発声で開宴。搾り立て天野酒や差入れの吟醸あまの酒吉祥など銘酒・美酒を飲み干して、歌自慢の校友多数によるカラオケ大会に。雰囲気は一段とヒートアップ、まさに「カイザー関大ここにあり」を地で行く様を呈したものであった。

（長尾保）
（上奥雅勇＝0721―63―3457）

長浜盆梅と市内見学
鴨鍋料理で懇親会

豊中支部（神保雅明支部長）では2月14日、長浜の盆梅展へ家族同伴で18人が参加しての観梅と懇親会を行った。

駅前で長浜観光ボランタリーガイドの出迎えを受け、簡単な長浜市内の案内をしてもらい、早速「慶雲館」へ。明治時代の長浜の迎賓館で200坪の壮大な庭園は国の名称に指定されており、慶雲館の名は初代総理大臣伊藤博文公の命名とか。館内には3メートル近い巨木や400年を超える古木が純和風の座敷にずらりと展示されている。

観梅の後は、観光客で賑わう北国街道を通り抜け、昼食兼懇親会場の翼果桜（よかろう）へ。築130年になるという建物の2階で鴨鍋料理に満足。

午後は黒壁ガラス館、曳山博物館を見学。重要文化財である大通寺では大広間や客殿を見学させてもらう。大広間では円山応挙や狩野山楽・狩野山雪の障壁画に感激、「あせび」展も併設され200年の古木の盆栽が展示されていた。

最後は長浜城を見学、盛沢山の内容に満足して帰阪した。

（幹事長　横畠正秀）

（横畠正秀＝06―6331―2275）



「旅から分かる世界の事情」
芸短大教授の谷口会員が講演

西支部（中野英満支部長）は、11月28日に大阪国際会議場で20年度支部総会を開催した。

本部の寺内俊太郎副会長（現会長）はじめ、辻佐一郎大阪支部連合会長など近隣支部からも代表が臨席され、支部会員18人が出席した。

中野支部長の開会挨拶に続き、寺内副会長より大学、校友会の現況について報告があった。

学歌斉唱、事業報告が行われた後、谷口靖弘会員（旅行コンサルタント・大阪芸術短期大学教授）の「旅から分かる世界の事情」と題する講演があり、海外旅行におけるマナーについて具体的な事例を挙げた話しで、「所変れば品変る」か。有益な講演であった。

懇親会では、辻連合会長より連合会結成の目的と経緯、今後の活動方針につき説明があった。山住武司・智則親子、河内克之・美恵子夫妻のような熱心な関大ファミリーの出席があり、感激させられた。最後に山本守昭会計監査が力強く閉会の辞を述べ、母校発祥の地である大阪市西区、当支部の一層の結束と大学への支援活動を促した。



（中野英満）

（中野不動産鑑定士事務所・中野英満＝06―6262―5801）

組織強化への努力誓い合う
上海からの留学生も参加

東住吉支部（中村潤一郎支部長）は、11月15日に楓林閣阿倍野店において、校友14人の出席のもと定期総会を開催した。

本部の石川昌司副会長、近隣支部の阿倍野支部の水野芳夫幹事長らのご臨席をいただいた。

学歌斉唱、中村支部長挨拶と続き、事業報告、会計報告および事業計画案を満場一致で承認可決した。毎回ながらであるが、今後の組織強化に努力するよう誓いあった次第である。石川副会長より大学の現在の状況等について報告があり、関西大学が常に進歩していると感じられた。

第2部として、当支部の和田直亮会員を講師に迎えて、今後の資産の運用についてのセミナーを開催した。興味のある話しでもあり、みな熱心に耳を傾けていた。

第3部懇親会が、畑校友会事務局長代行の乾杯の発声でスタートした。本年は中国上海からの留学生校友の参加があり、日本と中国の状況や文化の違い等の話を交わした。自己紹介では、各世代の話や体験談など楽しく語り合った。（幹事長　福田尚武）

（飛翔法律事務所気付＝06―6691―7185）

出席者が1分間スピーチ
総会に澤田西淀川区長など

西淀川支部（澤勲支部長）では10月4日、ホテルグランヴィア大阪において本部より寺内副会長、山田組織部長はじめ辻大阪市連合会会長、近隣支部、荒木市会議員、澤田西淀川区長をお招きして総会、懇親会を開催した。

総勢40人近くの参加をいただき、1部総会では支部のあり方等を議論し、次年度は更に会の活性化を図る旨の意思確認をした後、平成21年度事業計画、予算を可決し、2部の懇親会に移った。



学歌斉唱、澤支部長の挨拶、寺内副会長より西淀川支部への熱い思いと励ましの来賓挨拶を頂戴した。

無礼講となった後、六埜大先輩の司会によりアトラクションとして役員持ちよりの逸品オークションが開催され、関大が誇る世界的な有名選手の色紙等が出品されるなど大いに盛り上がった。売り上げは支部の活性化のために活用される。

恒例の出席者1分スピーチでは、関大に対する熱い思いや、同窓の友との面白話などで懇親を深め合い、また途中、澤支部長の洞窟に対する愛情の一片が披露されるなどして、淀川を臨む大阪の夜景を楽しみながら会は逍遥歌を高らかに斉唱し幕を閉じた。

（副幹事長　河野賢治）

（長谷部組・長谷部憲司＝06―6472―3261）

宮崎一也新会長を選任
宮口近税会長などが講演

関西大学会計人会（中村良介会長）は、多数の来賓と会員を迎えて研修会・総会・懇親会を太閤園で開催した。

総会に先立ち、研修部主催による第8回認定研修会が約2時間、37人の参加者を得てオーキッドテラスで開催された。

今回の研修テーマは「中小企業の会計指針について」であり、講師は近畿税理士会の宮口定雄会長と同会調査研究部の永橋利志部長をお招きしての研修会となった。宮口先生からは、自ら携わってこられた「中小企業の会計に関する指針」成立の経緯

から、「中小企業の会計」の本質について講演された。引き続き永橋先生から「中小企業の会計に関する指針」の改正点とその中から実務上重要であるリース取引について時間を割いて説明いただいた。

定時総会には、一軸校友会長ほか5人の来賓、5人の参与及び37人の会員をお迎えした。中村会長の挨拶のあと、宮崎副会長を議長としての議事に移り、役員改選など全議案が承認され、宮崎一也新会長が選任された。

エメラルドホールに場所を移して懇親会を開催。参加者全員で記念撮影の後、宮崎新会長の開宴の挨拶で華やかにスタートした。来賓を代表して上原理事長と安部副学長から祝辞を頂戴した後、畑下参与の発声による乾杯で和やかなムードはさらに高まり、5つの円テーブルに分かれての宴は最高潮を迎えた。

（副幹事長　長谷川孝夫）

（宮崎一也税理士事務所＝06―6945―3855）



魅力ある司法書士関大会を
会長に塩田氏を3選

11月28日、大阪キャッスルホテルで**司法書士関大会**（塩田貴美代会長）第48回総会および懇親会が開催され、一軸浩幸会長はじめ多数の友好団体より来賓の列席をいただき、総勢60人の参加となった。

塩田会長は、この1年間は実りの多い年だった。第1に念願であった大学との共催で合格祝賀会を行った。第2に2年前より校友会の弁護士・公認会計士・税理士・司法書士の4士と若手勉強会をしていたが、10月には不動産鑑定士・社会保険労務士を加えて6士で交流会を開催し、この会を「関士会」と命名、各会からの総勢19人の参加で意見を交換した。



席上、参加者の中から「現役学生に各士業の魅力・仕事の内容を伝えよう」との意見が出て、実行委員会をその場で立ち上げた。

第3に平成20年度司法書士試験は受験者数33007人、合格者931人、合格率2・82％という狭き門だが、本日この難関を突破してきた合格者2人を招待している。そして総会の議案として、魅力ある司法書士関大会を目指して5～10年先を見据えた事業活動と予算案並びに役員人事を上程すると述べた。

会則の規定に従い大藪正幸会員を議長に選出し、議案審議が行われた。今回は役員改選の時期であり、塩田会長が再選され3期目を迎えた。

大谷啓二応援団OB長柄会長の発声で懇親の場に移行した。懇親会では恒例の抽選会が開かれ、参加者全員が次々と福袋を手にした。

なお、選任された役員は塩田会長の他、副会長に武島博・上野義治・山田治作・佐竹正康・磯崎泰博・中村博の6人、幹事長に辻井宏之、会計監事に小島喜代一・重里正信の2人である。

（副幹事長　柴富公行）

（塩田司法書士事務所＝06―6943―1724）

合格者9人のうち7人が出席
合格者祝賀会と併せての総会に

弁理士関大会（大和田隆太郎会長）の定例総会は、弁理士試験合格者祝賀会と併せて1月30日、西区の徐園で開催された。来賓として寺内俊太郎校友会長らを迎え、会員27人が出席した。

大和田会長挨拶の後、来賓の寺内会長からは「従来、弁理士が表舞台に出る機会が少なかったとめるリーダーとして脚光を浴びており、その弁理士と親交を深めることができ幸甚である」とのお言葉を頂戴し、参加者一同恐悦した。議事に入り、各幹事から本年度の事業が報告された。中で千里山キャンパスの100周年記念会館で行われた弁理士関大会結成40周年記念事業が、稲岡耕作事業副委員長から報告された。



産学官連携・知財センター長の杉本隆史先生による基調講演「企業に期待する産学連携への取り組み方」、藤本昇会員をコーディネーター、杉本隆史先生、寺内俊太郎会長、田中久仁雄氏（産学官連携コーディネーター）、上代哲司会員をパネリストとするパネルディスカッション「産学連携の現場と諸問題」、および40周年記念パーティが催され、いずれも盛会であった。

事業報告後、21年度の本会会長の選出が行われ、選考委員による慎重な審議の結果、上代会員が選出された。上代新会長から、50周年記念事業に向かうべく、毎年の活動を充実したいとの意気込みが表明された。

弁理士試験合格者祝賀会では、本年度母校出身の合格者は9人であり、そのうち、7人が出席。大和田会長より激励の言葉とともに記念品が贈呈された。

記念撮影のあとの懇親会では、全員に豪華景品の当たる恒例の福引が行われた。

（宇田新一）

（上代・神野特許事務所気付＝06―6966―2121）

楽しめる総会をめざし
運営は若手実行委員で

西宮市役所秀麗会（河野昌弘会長）は1月28日、西宮神社会館で20年度総会を開催。海蔵寺西宮支部長、校友の県・市議会議員、会員の合計65人が参加、学生時代の思い出に浸った。

会員が楽しめる総会にしようと、来賓挨拶などを極力減らし、アトラクションのじゃんけんゲームは、若手会員による実行委員に運営を任せた。



ゲームは大いに盛り上がり、あっという間に時間が過ぎ、声高らかに逍遙歌を歌い閉会となった。

団塊の世代が退職していく中、会員数は減少傾向にあったが、昨年以来、若手主体の運営に切りかえ、新入職員の入会も増え、会にも活気が戻ってきた。

（幹事　笠井　忠）

（西宮市役所・笠井　忠＝0798―35―3045）

第2回秀麗塾を開催
テーマは中高連携と人権

大阪府学校秀麗会（泉冨三男会長）の第2回秀麗塾が12月13日に開催された。母校からは山本冬彦先生のご臨席を賜り、20人ほどの会員が出席した。



今回は「中高連携と人権教育」というテーマで、教育委員会から講師の先生をお招きした。生活指導としての集団づくりを通して人間関係を築くことが子どもにとって大切であること、また中高6年間で子どもを見て、キャリア発達支援の視点からトータルな連携が必要であることなどをお話しいただいた。

秀麗塾は校種を越えて会員同士が忌憚なく意見を述べ、学校運営の新しいアイデアや活力を得ることができる場である。学校秀麗会では府内の学校に勤めておられる先生方の参加をお待ちしている。

（釘田直久）

（金剛高等学校　泉　冨三男＝0721―28―3811）

中国・天津からも出席
復活第2回総会に40余人

春の息吹が間近に迫る2月23日、**竹中工務店葦の葉会**（丸山清司会長）の09年総会が、大阪市中央公会堂レストラン・中之島倶楽部で開催された。

一昨年、職域会として校友会に登録し、10数年ぶりに総会を開催した昨春に引き続きの復活第2回の総会で、40人を超える校友の参加があった。東京と天津（中国）の遠方からも各1人の校友の参加を得た。

丸山会長（昭49学工建）が開会を宣したのち、校友としても大先輩の顧問弁護士、藤井榮二先生よりご挨拶をいただき、岩井克友さん（昭52学法）の発声で乾杯、宴はスタートした。



普段仕事上のプロジェクトで関わるものの、校友であることを知らないこともあり、幾度か「あなたも関大でしたか」という声が上がることしきり。最近、母校を訪れる機会の少なかった校友向けに、営業部の河野修さん（昭57学法）と竹内丈久さん（平7学経）から最近の母校キャンパスの立派な変貌ぶと、高槻新キャンパス構想などの紹介がなされた。

また、今回が初参加となる新入社員、若手校友並びに10数年ぶりに参加した会員の自己紹介スピーチが行われ、その中で東京から赴任して2年目の盆子原篤さん（平3学経）から、「竹中東京葦の葉会」の活動報告がなされるなど、世代や勤務地を超えた交流の時間となった。

後半では、この春に定年を迎える松岡修さん（昭47学機）のお祝いとして後輩校友から花束が贈呈された。

（藤本直樹＝平5学法）

（総務部　藤本直樹＝06―6263―5702）

櫻田甲南大教授が出席
当クラブ生みの親の子息

チェリークラブ（竹内知行会長）総会が11月29日、本町のシティプラザ大阪で45人が参加して開催された。そして今回初めてチェリークラブ生みの親の故櫻田誉教授のご子息で、甲南大学法科大学院の櫻田嘉章教授にご出席いただき、懐かしいお話をたっぷりお聞かせいただき当時を偲んだ。次回からもご出席いただけることになった。



また、ミスタータイガースの唐渡吉則会員から、今年の阪神タイガースが優勝できなかったここだけのマル秘裏話などを聞くことができた。さらに、唐渡会員より特別ご提供の岩田選手のサインボール、会からタイガース選手のだっこちゃんスタイルの「腕トラ」が抽選で全員に当たった。

（宮腰健次）

（藪内正明＝06―6211―1050）

なつかしの先生の授業受ける
在籍当時の生徒と先生の顔

12月7日、**一高同窓会**（田中義昭会長）の創立60周年記念式典が、親和ホールにて盛大に執り行われた。来賓の方々や会員合わせて約350人が出席した。

田中会長式辞、来賓代表で一軸校友会長、豊島学校長挨拶と続いた。

今回の記念行事に当たり、記念品を役員で相談の結果タオルにしたが、そのタオルは、関大一中3年生の西川有紀さん揮毫による「関大魂」の文字奪還入り。西川さんには式典に出席いただき、感謝の花束が会長より手渡された。

記念式典閉会後、昼食をとり、午後からは懐かしの先生方による青春授業へと続いた。講師の先生方は9人お越しいただいた。

希望が多かった講師の長谷川雅樹先生と長尾宏先生には、教室から親和ホールへと会場変更をお願いし、80人ほどに授業をしていただいた。

長谷川先生がお話をされている途中に「先生、おいくつに



なられましたか」という質問がいきなり飛び出したり、40分間の授業終了後は先生に握手を求める先輩が多くおられた。

他には、受講生全員がハサミヤキイモ機を教室に運び込みサツマイモの勉強をした後、ヤキイモを振る舞っていただいた福岡直樹先生、また英語の授業のはずが中国語が好きということで授業内容を変更された松井先生と、いずれの講師の先生方も、とてもユニークな授業だった。

久しぶりに関大一高内に懐かしのみなさまが集い恩師との再会があり、昔話に花が咲き楽しい一日が過ごせた。

（総務　蔭地陽介＝36期）

（長　しずお＝06―6877―0480）

20年度新卒業生と懇談 記念品に認印を贈呈

一高同窓会（田中義昭会長）役員と平成20年度（第61期）新卒業生との懇談会が、2月21日に親和館中教室で開催され、同窓会役員4人、新卒業生クラス代表委員各2人および学年代表委員7人、豊島校長はじめ教頭、学年主任およびクラス担任ほか学校関係者が一同に会して新卒業生への記念品（認印）の贈呈式を行った。



この行事は、同窓会の恒例行事として行っており、新卒業生に対し、これから社会に出ていく際の必需品としての個人印を贈り、印鑑を使用する際の心構えや、今後一高同窓会事業への積極的参加等をお願いし、その後食事をしながら歓談した。

（藤堂秀夫）

「一期生はこれからだ！」 還暦迎え力強い面々

1月17日、今年も**社会学部同窓会**（中村仁会長）は、新大阪ホテルで新年懇親会を開催した。久しぶりの再会あり、初対面ながらすぐに旧知の如くもありと、同窓会ならではの和やかな場面があちこちにみられた。



ことに今回は、還暦を迎えた1期生の元気さが目立った。世の中の不景気をものともせず一線で頑張っている者、第2のステージで新しいことを始めた者等々、力強い面々ばかりだった。

一昨年、創立40周年を迎え、NEXT40へと新しく発展して行く学部を率いる高瀬学部長からも強い決意をお話いただいた。

4月5日の校友会スプリングフェスティバルの日には、千里山キャンパスの桜の下で、第6回総会を開催いたします。是非、ご予定ください。

（幹事　久保敬子）

http://blogs.yahoo.co.jp/shagaku07/

（中村　仁＝090―3972―2608）

校友ネットワークの構築進む 6月再建の葦文会が忘年会

葦文会（文化会OB会・中瀬和夫会長）では、12月13日にホテル阪急インターナショナルで忘年会を開催し、24人が参加した。

現役新旧本部長、前本部長の参加もあり、フレッシュな顔ぶれであった。また、吟詩部、茶道部のOB会代表者、千葉県からの参加者や西野陽衆議院議員の参加もあった。



学歌斉唱後、懇親会に移り、自己紹介や学生時代の思い出話や近況等楽しいひと時を過ごした。中には約40年ぶりに再会したという校友もいた。

昨年6月に葦文会を再建したのだが、現役との交流、若手の参加、新メンバーの加入、各文化会OB会等「校友ネットワークの構築」が確実に進んでいるように感じた。今後、ますます進めていきたいと思っている。

葦文会では参加者を募集している。参加資格は、在学中文化会活動（学友会、文化会の出身は問わない）に参加していたものとなっている。

（幹事長　三坂友章）

http://www2.kandai_koyukai.com/ibunkai/

（三坂登記事務所内＝090―5158―7259）

役員と現役新幹部が懇親会 7月4日（土）に50周年祭

応援団OB千成会（田中義昭会長）の役員と09年度の現役第87代新幹部との懇親会が、2月2日、JR尼崎駅前のホテルホップインアミングで千成会役員25人、現役新幹部17人の合計42人が参加して盛大に行われた。

田中会長の挨拶ではじまり、鈴木団長以下現役幹部紹介や現状報告並びに今年度の活動方針などの発表が行われた。続いての懇親会では、当初現役諸君は緊張していたが、酒宴が進むに連れてあちこちのテーブルから笑い声の聞こえる楽しい雰囲気になってきた。

酒宴もたけなわの中、今度は千成会役員の自己紹介が始まり、マル秘昔話等も飛び出し、さらに盛り上がった。その後団長の指揮の下、円陣を組み逍遥歌を歌い記念撮影を行った。



最後は別處副会長より、今後一層の現役への協力と、今年7月4日（土）にリーガロイヤルホテルで開かれる千成会50周年祭に対する協力をお願いして散会した。

（事務局長　近藤茂憲）

（田中正喜＝06―6499―1948）

増地常務理事が母校を語る 来年は50周年祝賀会を

商学部自治会執行部のOB会が、2年ぶりに1月10日「がんこ梅田店」で12人が出席し開催

された。

関大学友会が機構の大改革を行い、学部自治会制の実施へと踏み切ったのは、昭和34年12月のことで、60年安保、また、当学においては「高速道路学内通過反対運動」も加わり、学生運動が盛んな時期であった。

初代執行委員長には故林田礼次郎氏が選ばれ、学内活動本位に、地道に前進しようと、自治活動の基盤育成を計ることを大前提とした具体的な骨格を発表した。第1に生活協同組合の設立、第2に1・2年次のクラス制の実施、第3は教科内容の充実の3本柱であった。

この理念は、2代目の梶、3代目の岡田、4代目の中島、5代目の増地と各執行委員長に受け継がれ、全て今日の商学部に反映されている。中でも生協には、初代学生理事として、森塚、亥口、高山と3人が選出され、故金子又兵衛理事長（文学部教授）とともに運営に心血を注いだことなどの苦労話に花が咲き、5代委員長であった現関大常務理事増地英一氏からの「母校の現況および将来構想」の話題に耳を傾け、青春時代の懐かしい1ページを繙いた。（亥口　寛）



創立60周年を盛大に祝う
第1回演奏会出演者が苦楽談
交響楽団OBOG会（谷口眞人会長）は、創立60周年パーティを11月22日にホテル日航大阪で開催、65人が出席し盛会だった。

土倉教授（OBOG会顧問）、徳常准教授（現クラブ顧問）にご出席いただき、黙祷のあと現役の伴奏で学歌、会長、土倉顧問、徳常准教授の挨拶の後に、齋藤義廣先輩の乾杯のご発声で宴が始まった。



昭和24年の第1回演奏会に出演の赤田和也、森宗一、吉野善三郎、西村寿美子（旧姓渡辺）先輩から創立時の苦楽談をお聞かせいただいた。現役齋藤純希団長の挨拶に続いて、岸本文彦、山口文武、市原憲厚ほか各氏から年代ごとのエピソードが披露された。

現役四重奏の演奏の後に、大槻基郎前会長の提案で山本弘指揮によるOBOG弦楽四重奏で宴会はピークとなった。（会長　谷口眞人）

首都圏在住校友の活躍不可欠
真の全国区となるために
関西大学関東六一会（応援団・体育会各部の昭和61年卒関東地区同期会・今泉昭彦会長）。

12月4日、東京六本木にかつての関大戦士が一人また一人集まって来た。卒業から22年振りに会う友は、お互いに分かるだろうか、との不安を抱きながら。この日、集まったのは11人。長久佳浩関東六一会会長（器械体操部）の乾杯の音頭でキック・オフ、と同時に笑いの渦に包まれていった。体育会の各種行事や総合関関戦、カイザー関大を復活させるべく朝まで議論したことや母校を巣立って行ったあの日のことが、昨日のことのように懐かしく思い出された。

また、参加者は現在、子育てや様々な企業・団体にて中堅を担う立場ではあるが「青年の日の志」は未だに健在で、いわゆる生涯スポーツを楽しむ者がく、さすが体育会のOB・OGであると感心。

今泉会長（体育会本部・野球部）からは「関大が真の意味で全国区となっていくためには首都圏在住校友の活躍が不可欠。先ずは新たな仲間を増やし、関東六一会の充実を図っていこう」との提案に全員が賛同した。（幹事長　関大スポーツ編集局OB　高橋章）



連絡先：yuchokyu@lily.sannet.ne.jpURL http://groups.yahoo.co.jp/group/ku61

50周年迎え新たな旅路へ
会長に岡村正次氏を選出
11月23日、100周年記念会館において文化会ユースホステルクラブの50周年記念総会が開催され、OB・OG62人と現役部員11人が集った。

第1部は記念総会。開会の挨拶としてクラブ創設者の一人である山田哲氏（38卒）が創部の経緯を述べられ、クラブへの助成と永年クラブの顧問をしていただいた田中昭平名誉教授へのお礼と春の叙勲をお祝いして、感謝の意を表すことを決議した。

続いて役員改選が行われ、会長に岡村正次氏（昭38卒）、副会長に伊藤昌一氏（昭39卒）、事務局に市山二郎（昭45卒）が選出され、新会長の就任挨拶にて総会を終了。

第2部は記念パーティとなり、参加者からクラブ活動の思い出や近況が報告された。特に今でも山に登り、旅を楽しんでいるとの話が沢山あった。

40周年記念総会の時の8ミリが映写され、その時から10年が経過したことを参加者は実感した。この間、クラブの部員が激減、存続問題が発生。OB・OG会と現役部員との問題解決への会合が今は懐かしく思われた。

OB・OG会は、創部50周年を迎え、新たな「旅路」に向かうユースホステルクラブと共に歩むことを決意した記念総会と



なった。（市山二郎）

60周年記念茶会に300人
2年前から実行委員会立ち上げ

11月2日、北浜の「大阪美術倶楽部」で**茶道部創部60周年の記念茶会**を現役学生とOB・OG合同で催した。茶道部にとって10年振りとなる現役・OB合同の茶会で、2年前から実行委員会を立ち上げ、何度も何度も話し合いや練習を重ねた。今回の記念茶会のテーマを「和」と設定し、学生・OBそれぞれが担当する席の趣向を考えて当日お客様をお迎えした。

当日は天気もよく、この日集結したOB・OGは、北は北海道小樽から南は山口県下関まで全部で約100人。OB以外にも他大学の茶道部の方、その他一般のお客様を含め300人強の方に来ていただき、盛会に終えることができた。当日の夜にはホテル日航大阪にて、学生・OBで60周年の祝賀会を催した。こちらには学生・OBあわせて約100人が参加。茶道部顧問高橋隆博文学部教授、ならびに茶道部師匠福原宗寿先生のご挨拶、大先輩の貞利氏（昭27卒）の乾杯に始まり、会は賑やかに和やかに進み、最後には学歌、逍遙歌の大合唱、そしてエールで締めくくられた。（洗心会会長　高秋勝美）



ゴルフだより

悪天候ものともせず
第22回KUK―CUP開催

11月24日、**神奈川支部**（重延義樹支部長）ゴルフコンペを、神奈川県秦野市の大秦野カントリークラブで開催した。

参加者15人、最終4ホールは雨になったが、悪天候をものともせず野球部出身の高橋俊治さんが優勝した。国定公園丹沢山系を背景に、豊かな自然の秦野を満喫した大会となった。

詳細は、神奈川支部HPにて。（世話役・足達憲一・田中潤一）

http://kanagawashibu.ld.infoseek.co.jp/

（ダイケイ気付＝050―1063―9660）



会と催し

掲載は、組織名、開催日時、場所（会費、連絡先・電話番号）の順。（平成21年度確定分）

本部関係

▽**2009スプリングフェスティバル～桜の母校によっといデー～**　4月5日（日）午前10時　千里山キャンパス（校友会事務局＝06―6368―0044）

▽**第25回記念支部対抗親睦ゴルフ大会**　5月19日（火）小野グランドカントリークラブ

▽**第93回定時代議員会**　6月13日（土）午後1時半　千里山キャンパス・100周年記念会館

▽**平成21年度全国組織代表者会議**　7月11日（土）午後1時半　千里山キャンパス・100周年記念会館

▽**平成21年度校友総会**　10月18日（日）午後1時　千里山キャンパス・BIGホール100

▽**平成22年校友会新年互礼会**　22年1月15日（金）午後6時　新阪急ホテル

▽**第94回定時代議員会**　22年3月27日（土）午後1時半　千里山キャンパス・100周年記念会館

地域支部

▽**寝屋川支部総会**　5月16日（土）午前11時半　守口ロイヤルパインズホテル（木下元重＝072―833―5200）

▽**和歌山支部総会**　5月24日（日）午前11時　華月殿（長谷川冷機・赤井雅哉＝073―436―2151）

▽**神戸支部総会**　6月5日（金）午後6時半　ホテルオークラ神戸（東光商会・志水利達＝078―453―2211

▽**九州・山口・広島支部対抗親睦ゴルフコンペ**　6月6日（土）午前9時　佐賀市富士町・フジカントリークラブ（17,300円＝会費・昼食代含む。当番幹事・佐賀千里会、松永久光幹事長＝090―4992―3300）当日夕刻、近くのリバーサイドホテル川上（さが健康ランド内）で懇親会（1万円＝1泊2食、飲み放題）

▽**堺支部総会**　6月14日（日）午後3時　ホテル第一堺（鍋島均＝072―284―1412）

▽**北支部・都島支部合同総会**　6月20日（土）午後6時　ホテルモントレ（北支部・前田正＝06―6351―1331、都島支部・野村富雄＝06―6951―8155）

▽**東大阪支部総会**　6月20日（土）午後6時半　ホテルアウィーナ大阪（岩崎事務所・岩崎英夫＝072―966―0111）

▽**京都支部発足70周年記念総会**　6月27日（土）午後6時　リーガロイヤルホテル京都（1万円、21年新卒業生無料、家族5千円。いぐち・井口俊博＝075―351―2112）

▽**八尾支部結成50周年記念総会**　6月28日（日）午前11時　シェラトン都ホテル大阪（青砥申生＝0729―92―3190）

▽**河内長野支部創設50周年記念総会**　7月4日（土）午後3時　河内長野荘（上奥雅勇＝0721―63―3457）

▽**岡山支部総会**　7月4日（土）午後4時　全日空ホテル岡山（田淵自動車鈑金塗装所＝086―222―7076）

▽**豊中支部総会**　7月4日（土）午後5時　ホテル・アイボリー（横畠正秀＝06―6331―2275）

▽**岡山支部ゴルフ大会**　7月5日（日）金陵カントリークラブ

▽**富田林支部50周年記念総会**　7月12日（日）午前11時　スバルホール・小ホール（7千円、野島努＝0721―23―3190）

▽**高槻島本支部総会**　7月26日（日）午後4時半　たかつき京都ホテル（コヤマカンパニー内・支部事務担当＝072―682―2525）

▽**河内長野支部創設50周年記念行事**　8月1日（土）午後　河内長野ラブリーホール

▽**広島支部総会**　8月22日（土）時間・場所未定（児玉靖＝082―282―3727）

▽**山口千里会25周年記念総会**　8月29日（土）午後7時　山口グランドホテル（北乗吉道＝0839―86―2626）

▽**尼崎支部設立70周年記念会**　9月12日（土）午後6時　ホテルニューアルカイック（住谷昌昭＝06―6416―1506）

▽**首都圏支部連合会総会・懇親会**　9月18日（金）午後6時　関西大学東京センター（関西大学東京センター＝03―3211―1670）

▽**吹田支部総会**　9月26日（土）午後2時　メイシアター・1階集会室（1万円、女性7千円、21年新卒生無料。日隆産業・谷康司＝06―6329―4424）

職域会ほか団体

▽**紫紺四五会（昭和45年卒業の体育会・応援団同期会）の集い**　4月4日（土）午後1時15分　大阪駅前第1ビル12階・神仙閣（7千円、西岡山清一郎＝090―3059―6548）

▽**関大法曹会総会兼中尾大阪高検検事長就任祝賀会兼一軸前校友会長退任慰労会**　4月7日（火）午後6時半　新阪急ホテル（かとう法律事務所＝06―6311―2235）

▽**堺市役所関友会総会**　6月26日（金）午後6時半　リーガロイヤルホテル堺（子育て支援部・曽根正美＝072―228―7522）

▽**女子秀麗会総会**　6月28日（日）午前11時　シティプラザホテル大阪（仁井ひろみ＝06―6922―6806）

▽**東京経済人倶楽部交歓会**　6月29日（月）午後7時　場所未定（関西大学東京センター＝03―3211―1670）

▽**応援団OB千成会創設50周年記念総会**　7月4日（土）午前11時半　リーガロイヤルホテル（田中正喜＝06―6499―1948）

▽**スポーツマンクラブ総会**　7月7日（火）午後7時　ニューミュンヘン北大使館（関西舶用・中井邦夫＝06―6572―1021）

▽**司法書士試験合格祝賀会**　7月15日（水）午後6時　大阪キャッスルホテル（塩田司法書士事務所・塩田貴美代＝06―6943―1724）

▽**自動車関大会総会**　7月15日（水）午後6時45分　ホテル大阪ベイタワー（大阪トヨタ自動車経理グループ・中野吾一＝06―6451―6853）

校友短信



◇大阪高検検事長に中尾巧氏就任　1月16日付。中尾巧氏（なかお・たくみ＝昭45学一法）は、4年次の44年9月に司法試験第二次試験合格。47年東京地検検事任官、その後、大阪地検刑事部長、大阪高検刑事部長、金沢地検検事正、法務省入国管理局長、大阪地検検事正、札幌高検検事長等を経て、平成19年7月名古屋高検検事長。61歳。

◇茨木市議会議員選挙に3校友が当選　1月25日に投開票された茨木市議会議員選挙で3人の校友が見事当選した。

木本保平氏（きもと・やすひら＝昭42学一新）当選11回。昭和61年以来3回議長を歴任。茨木市柔道連盟会長、自民党茨木支部長。67歳。

小林美智子氏（こばやし・みちこ＝平2学一英）当選2回。平成17年1月初当選。無所属・市民派。44歳。

安孫子浩子氏（あびこ・ひろこ＝昭59学一哲）当選2回。平成20年4月の補欠選挙で初当選。元茨木市ＰＴＡ協議会会長、ＮＰＯ法人理事。民主党。47歳。

◇香川県琴平町副町長に秋山俊次氏就任　1月1日付。秋山俊次氏（あきやま・しゅんじ＝昭54学一法）は、54年香川県入庁。総務事務集中課長補佐等を経て平成20年4月から自治振興課副課長。52歳。

◇イトーキ社長に松井正氏就任　3月下旬就任。松井正氏（まつい・ただし＝昭44学一経）は、44年同社入社。平成15年九州支社支社長、20年1月から常務執行役員。62歳。

◇ザ・パック社長に中尾吉計氏就任　3月27日付。中尾吉計氏（なかお・よしかず＝昭50学二経）は、50年日本ケース（現ザ・パック）入社。平成10年取締役、常務、専務を経て20年7月副社長。56歳。

◇橿原考古学研究所所長に菅谷文則氏就任　4月1日付。菅谷文則氏（すがや・ふみのり＝昭40学一史・42院修文）は、44年技師として奈良県教委に採用され、飛鳥京跡などを調査。滋賀県立大学人間文化学部教授を経て名誉教授。66歳。

◇堀江謙一氏が植村直己冒険賞特別賞を受賞　兵庫県豊岡市が主催する植村直己冒険賞の平成20年受賞者が2月12日に発表され、特別賞に海洋冒険家の堀江謙一氏（ほりえ・けんいち＝昭32高1）が選ばれた。昭和37年、世界初の小型ヨットでの太平洋単独横断に成功以来、無寄港での世界一周、波浪推進船でのハワイ―日本間の単独航海など長年の挑戦が評価されたもの。授賞式は6月6日に豊岡市で行われる。

◇ＷＢＣ代表メンバーに岩田稔投手選出　阪神タイガースの岩田稔投手（いわた・みのる＝平18学一経）がワールド・ベースボール・クラシック（ＷＢＣ）の日本代表メンバーに選ばれた。「自らと同じ1型糖尿病と闘う子供たちの希望になりたい」夢を抱く岩田投手は、昨季10勝（10敗）と開花。今季から、1型糖尿病の研究基金へ1勝ごとに10万円を寄贈することになっており、ＷＢＣとシーズンでの活躍が期待される。

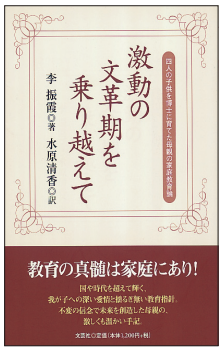
新刊紹介

激動の文革期を乗り越えて

李振華　著・水原清香（昭52学中文）訳

文芸社　刊

定価　1200円＋税



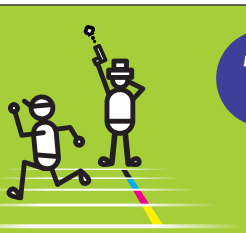
訳者は、本学文学部中国文学科を1977年に卒業、すぐに結婚され子育ての最中、「文革」終息間もない1987年に北京語言大学に語学研修で留学、その時、評者の紹介で中央党校（中央党幹部教育機関）教員の著者を訪ね、それ以後干親として親身な援助を続けていただいているという。

「文革」正しくは文化大革命、この言葉はすでに歴史的遺物になっているが、当時の中共指導者・毛沢東はみずから組織した紅衛兵に指示し「造反有理」「革命無罪」と叫んですべての権力機構を破壊しただけでなく、権威をもつ者、例えば教師を生徒が罵倒し土下座させたり、白紙答案を出した生徒を礼賛するなど勉強無用論がまかり通り、古いものは古いというだけで破壊しつくされた。こうして全土の学園や職場は無法無秩序の状態であった。

サブタイトルに「四人の子供を博士に育てた母親の家庭教育論」とあるように、本書は動乱と飢餓のなかで必死に双子を含む四人の子を出産し育て教育を受けさせ、最後にはアメリカ留学させてそれぞれが博士号を獲得するまでの記録である。訳者は「教育はどのようにあるべきか」をこの記録から汲み取ってほしいと説いている。

しかし、同時に本書は「文革」への告発書とも読みとれよう。「文革」共鳴者には反省の痛烈な資料として、「文革」を知らない世代には革命の内実がいかにむごたらしいものであるかを如実に示す記録として、多くの人々に読んでほしいと願う。

（名誉教授　坂出　祥伸）



毎日
スタート&ダッシュ
あらゆる印刷に、全速・全力でお応えします。

お客様のご要望にお応えすべく、
確かな技術の中から
最適のご提案をすることで事業のお役に立つ。
お届けするのは、印刷ソリューション。
そのために、情報も対応も、より速く的確に。
いつも全力で、毎日スタート&ダッシュ!
私たちは東洋紙業です。

印刷で人と時代をコミュニケートする
東洋紙業株式会社
大阪本社：〒556-8555　大阪市浪速区芦原1-3-18　☎(06)6567-2111
東京本社：〒140-8670　東京都品川区南品川6-1-5　☎(03)3450-2111
www.toyo-s.co.jp

言いたいことが伝わる話し方のコツ～なぜ上司は「あの人」の話なら聞くのか？

門脇竜一（昭61学経）**著**

総合法令出版　刊
定価　1200円＋税



人に何かを伝えるときに、なかなか上手く伝わらなかったり、どういう風にアプローチをしていいのか分からず悩んでいる人は少なくはないようである。特に上司と部下の関係の中で、部下が上司に話をするときには、変に気をつかってしまい上手く行かないことはよくあることである。

やる気はあっても「どう上司に接していいか分からない」「これ言っておいた方がいいのだけど、なかなか言いにくくて……」と悩みを抱え込んでしまう部下はどこにでもいる。そういう場合は、話し方を変えることでクリアされるのだが、これがなかなか難しい。「話し方を変える」と、ひと言で言っても、じゃあ一体どう言えば効果的なのか、具体的な事については、案外分りにくいものである。

本書は、そういった状況を乗り越えるためのヒントと共に、話す力をつけてくれる一冊である。著者は自らの豊富な企業人の経験から得た社員の視点と共に、経営者としての視点を持つ、関大出身らしいガッツあふれる組織＆人材開発コンサルタントである。本書には、社員・経営者・コンサルタント～3つの視点で、ビジネスの現場を見てきた経験がある著者だからこそ書ける「できる人」になれる会話術が満載である。

若手のビジネスパースンのみならず、社員、部下の育成に悩む管理職・経営者諸氏にも読んでもらって、職場の活性化に是非役に立てて欲しい一冊である。

（本田　廣市）

生活宇宙52話

櫻井　公（昭42学文新）**著**

JDC出版　刊
定価　1300円＋税



クラブ（広告研究会）の後輩が「人生の教科書」とも言える本を著した。

「生活宇宙」とは、身の周りのあらゆる事物に壮大な宇宙の意志や仕組みが関わり、存在している意。ただ一つの物事を、まったく違う角度から見る事がいかに困難か、しかし、努力次第で、それはできる！場合によっては不幸さえも幸福に思えるようになる―という発想（創造）チェンジの意味や本質が、何とか善き人に、そして悪しき人にもと願い綴られたものである。1994年のプロトタイプから今日までの「落差」が見逃せないのも本書の値打ちであり、不易と流行の不易が脈打ち、流行が貴重な味になっている。

期待どおり名実（タイトル・本文）共に素晴らしく、正直、新鮮な感銘を受けた。いま時の日本人、特に若者に是非伝えたい人生の基本や知恵が著者の大いなる熱意と豊かな経験に基づいて明解・簡潔に展開されており、その思いがひしひしと伝わってくる。昨今の世相、特に若者たちが目標・希望を模索する中で、必ずや彼らの支えとなると確信する。

ビジネス評論家の青木匡光氏は、本書を「相手を思いやるユーイズム、万事相対的に把握するバランス感覚、そしてしなやかで柔軟な発想の大切さを説く52話は、勇気を持ち、自分らしく主体的に生きるための知恵と生活技術の宝庫である。その数々が、明日へのエネルギーの糧になる」と評している。

意外なプレゼント、引出物等々、世の中に珍しい不思議さを秘めた一冊である。

（松本　速夫＝昭41学商）

お悔み申し上げます

〈敬称略〉

三島良一（みしま・りょういち＝昭28学2経）平成20年7月9日死去。77歳。八尾市。

山崎敬司（やまざき・けいじ＝昭25学一経）9月16日死去。80歳。奈良県三郷町。

浅津健夫（あさつ・たてお＝昭32学一法、大阪富士工業）9月20日死去。75歳。宝塚市。

重野貴之（しげの・たかゆき＝平14学工生、たこ壱自営）11月30日死去。30歳。半田市。

田代英人（たしろ・ひでと＝昭29学一経）12月4日死去。80歳。大阪市。

平野孝行（ひらの・たかゆき＝昭38学一文、昭和37年の第40回全国学生相撲大会で個人戦優勝、関大3人目の学生横綱となった）12月7日死去。68歳。堺市。

村田良郎（むらた・よしろう＝昭35学一商、元校友会常議員・元代議員）12月13日死去。70歳。東大阪市。

永原義夫（ながはら・よしお＝昭29学一法、王建工業取締役社長、前日本建築材料協会副会長）12月26日死去。78歳。西宮市。

佐藤　博（さとう・ひろし＝元法人評議員、名誉教授・元経済学部教授、専門は財政学）12月30日死去。80歳。高槻市。

安岐英一（あき・ひでいち＝昭34学二商、公認会計士・安岐英一事務所）平成21年1月4日死去。76歳。西宮市。

竹内松雄（たけうち・まつお＝昭16専二法）1月7日死去。96歳。藤井寺市。

佐橋滋夫（さはし・しげお＝元第一中学校教諭）1月13日死去。82歳。茨木市。

鬼頭藤十郎（きとう・とうじゅうろう＝昭32学一法、㈲島藤代表取締役、元校友会代議員、愛知支部会計監査）1月21日死去。74歳。名古屋市。

岩田恵美子（いわた・えみこ＝旧姓清水、昭25高二普・29学二経、書道家。校友会代議員、元吹田支部副支部長・婦人部長）2月10日死去。79歳。吹田市。

吉本孝治（よしもと・たかはる＝昭28学一商、吉本機工商会代表取締役、校友会代議員）2月24日死去。78歳。大阪市。

關大
第五〇号
平成二十一年三月十五日発行（奇数月十五日発行）
昭和三十年八月六日第三種郵便物認可
発行人　校友会長　寺内俊太郎
発行所　関西大学校友会
〒五六四・八六八〇　吹田市山手町三丁目三番三十五号
電話〇六（六三六八）一一二一（代）
振替口座　〇〇九三〇・二五五九四
定価一〇〇円（送料別）

結婚



㈱ブライダルは関西大学校友の皆様の「結婚」を応援します。

31年の実績

㈱ブライダルは今まで法人福利厚生、官公庁、各大学会報誌などで、数多くの方々の結婚のお世話をさせて頂いております。少子化問題にも『結婚』という形で社会に貢献できる企業を目指しており、この度賛同を得て「関大コース」を設立致しました。この「関大」を見たとおっしゃってくだされば、校友の皆様、大学教職員の方々はもとより、ご家族の方でも特別に、「結婚」を特典付（会員サポート費50%OFF）にてお世話させて頂きます。

関大コース

会員サポート費50% OFF

ブライダルコース ￥220,500▶￥189,000etc.

エクセレントコース ￥378,000▶￥330,750etc.

●ミドル・シニアの方々のプランにも特典がございます。

価格は登録料・会員サポート費・月会費（12回分）の税込総額です。

株式会社ブライダル
Network　東京・横浜・湘南・浜松・豊橋・名古屋・岐阜・大阪

名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F
東京本社 〒163-0528 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル28F
大阪支社 〒530-0001 大阪市北区梅田1-8-17 大阪第一生命ビル10F

お問い合わせ（月曜定休）0120-415-412
ホームページ http://www.bridal-vip.co.jp
携帯サイト http://www.bridal-vip.net/m/

上のQRコードにて携帯サイトに簡単にアクセスできます。（一部対応しない機種がございます。）

Printed in Japan 2009　印刷／東洋紙業高速印刷株式会社
古紙配合率100%再生紙を使用しています。
PRINTED WITH SOY INK 植物性大豆油インキ使用。